

東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設

## 展示基本構成（概要）

2018年10月31日

福島県

## 展示基本構成(案) INDEX

|                       |                                |     |
|-----------------------|--------------------------------|-----|
| 展示概要                  |                                | P2  |
| A 1. プロローグ            |                                | P15 |
| A 2. 災害の始まり～安全神話の崩壊～  | A 2-1. 事故前の暮らし                 | P21 |
|                       | A 2-2. 東日本大震災～地震と津波の記録～        | P23 |
|                       | A 2-3. 原発事故の発生                 | P26 |
|                       | A 2-4. 国・県・市町村の災害対策本部の記録       | P32 |
| A 3. 原子力災害の影響と対応（初期）  | A 3-1. 避難の開始                   | P37 |
|                       | A 3-2. 県内全域に広がる不安              | P39 |
|                       | A 3-3. 国内外からの支援・反応             | P42 |
| A 4. 県民の想い            |                                | P45 |
| A 5. 原子力災害の影響と対応（長期化） | A 5-1. 風評被害とその払拭               | P53 |
|                       | A 5-2. 除染                      | P57 |
|                       | A 5-3. 長期避難と避難者への対応            | P65 |
|                       | A 5-4. 健康不安への対応                | P68 |
| A 6. 復興への挑戦           | A 6-1. 行政による復興への取組             | P74 |
|                       | A 6-2. 廃炉の今                    | P78 |
|                       | A 6-3. 福島イノベーション・コースト構想の取組     | P81 |
|                       | A 6-4. FUKUSHIMA 12            | P84 |
|                       | A 6-5. みらいの街                   | P86 |
|                       | A 6-6. 県民による復興への取組（チャレンジ！ふくしま） | P88 |
| A 7. 企業ブース・情報検索コーナー   |                                | P90 |

## 展示概要

---

■展示・事業活動の方針と3つの展開ポイント

この災害を「自分事」として捉え  
これからの生活、自分について考える

原子力との共存共栄を保ってきたふくしま。原子力による恩恵、そこには平穏な日常が存在しました。

2011年3月11日14時46分に一変するまでは・・・

あの日から、ふくしまが体験した光と影、そして現在進行形で体験していることを後世に残し伝えることで、

原子力災害を学び、来館者それぞれが考える“きっかけ”となる場を目指します。

そして、原子力災害を二度と起こさないこと、また万が一への備えや復興にむけた最新の取組を国内外に発信することで、ふくしまだからこぞできる世界でただ一つの原子力防災・復興の発信拠点を実現していきます。

1. 世界初の経験を記録し発信する

蓄積された記録を生かした  
「体験型」学習

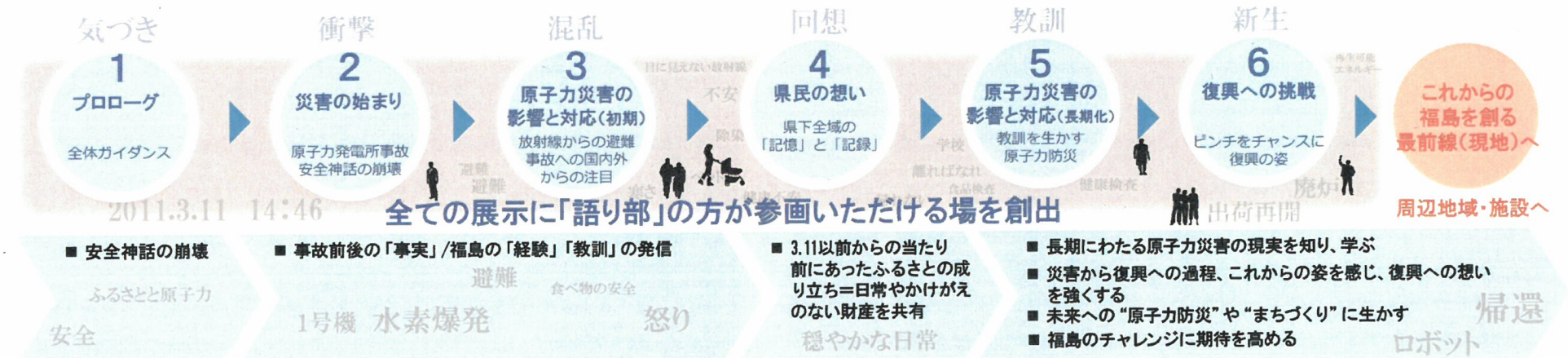
2. 生の声を伝え、記録を重ねる

「人」「語り部」を通して  
県民の想いを国内外に発信

3. 日々変わる最新の姿(教訓と新たな取組)を伝える

福島の前線～光と影～を  
「リアルタイム」で発信

■展示ストーリー



## ■動線計画・ゾーニングについて

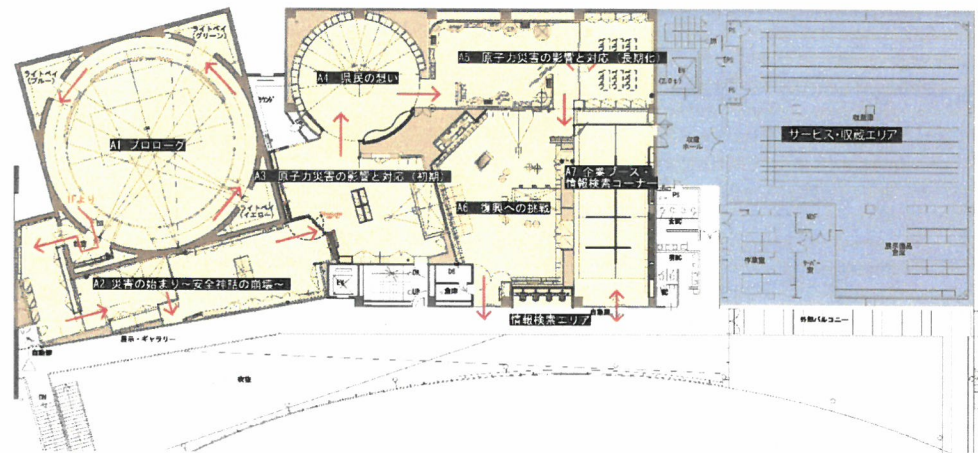
### 展示ストーリーを重視した明快な動線計画の採用

- 展示や体験、プレゼンテーションを通して、福島のことを正確に知ってもらい、何かからの成果を持ち帰ってもらうために、ゾーンごとに展示を見ていく一筆書きの強制動線とする。
- 展示エントランスは、「受付・事務機能との連携」及び「2階に配置されたメインの展示・プレゼンテーションエリアへの誘導」を考慮し、1階に設けプロローグ（導入シアター）を介して2階にアプローチする計画とする。
- 展示全体を通して、語り部の方がそれぞれの知識や経験を活かして、事故前の暮らしから、被災時やその後の対応、そして復興へと向けた歩みを説明できる構成とする。

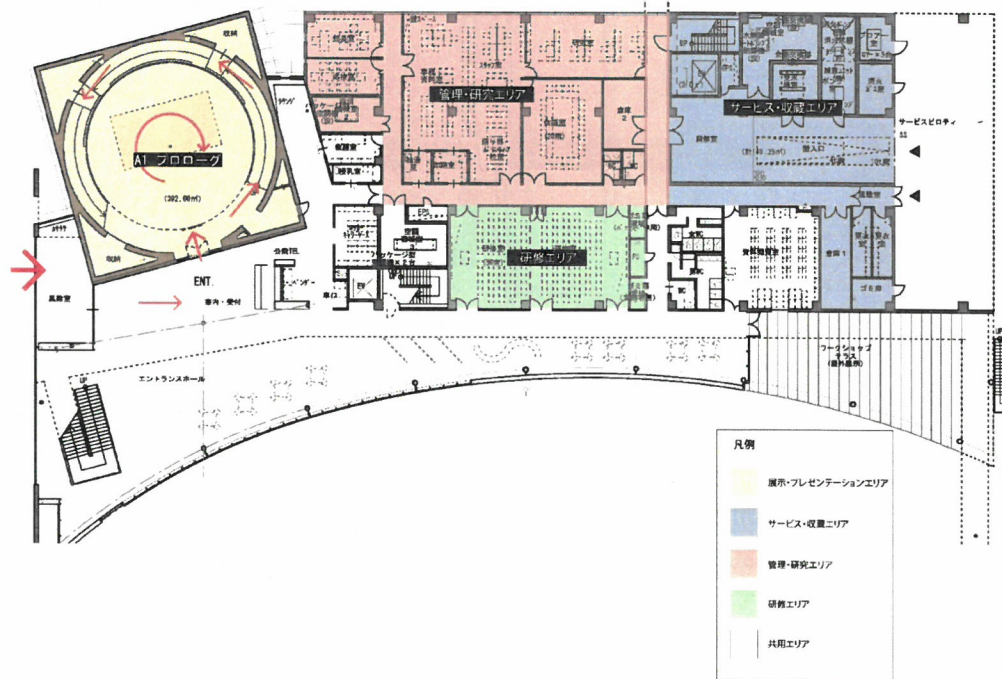
#### [その他のポイント]

- ・メインの映像コンテンツを見たくない方、気分が悪くなった方のために、そのまま導入シアター内のスロープやEV等で2階展示室へ直接アプローチできる動線を確保する。
- ・情報端末（デジタルアーカイブ）を2階展示室出口付近（共用エリア）に配置し、誰もがアーカイブ情報にアクセスし、理解を深めることができるようにする。
- ・収蔵庫から展示室への展示資料動線を確保する。
- ・貸し出しも想定される企業ブース・企画展示スペースについて、フレキシブルな空間構成とし、共用エリアからのアクセスを確保する。

2F



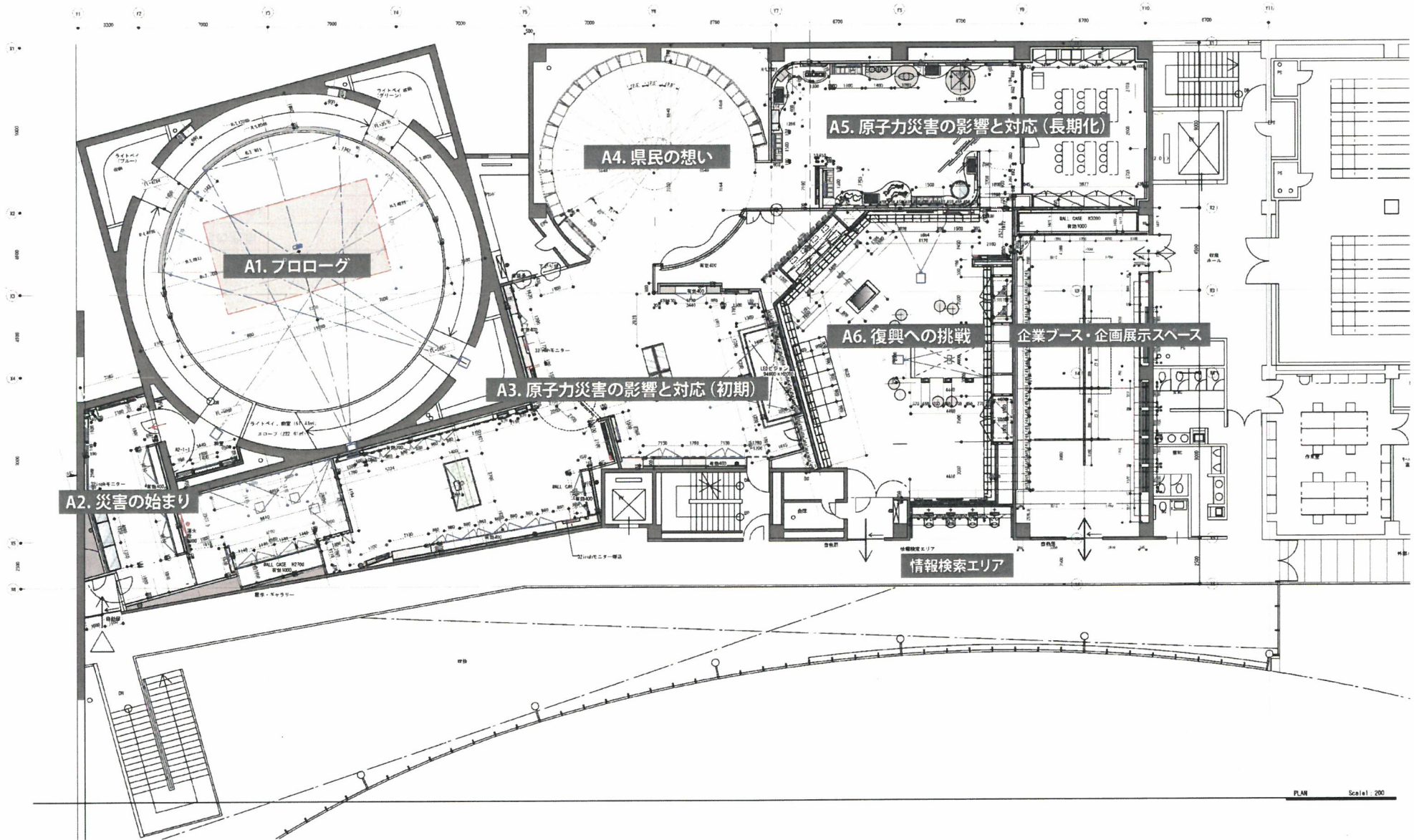
1F



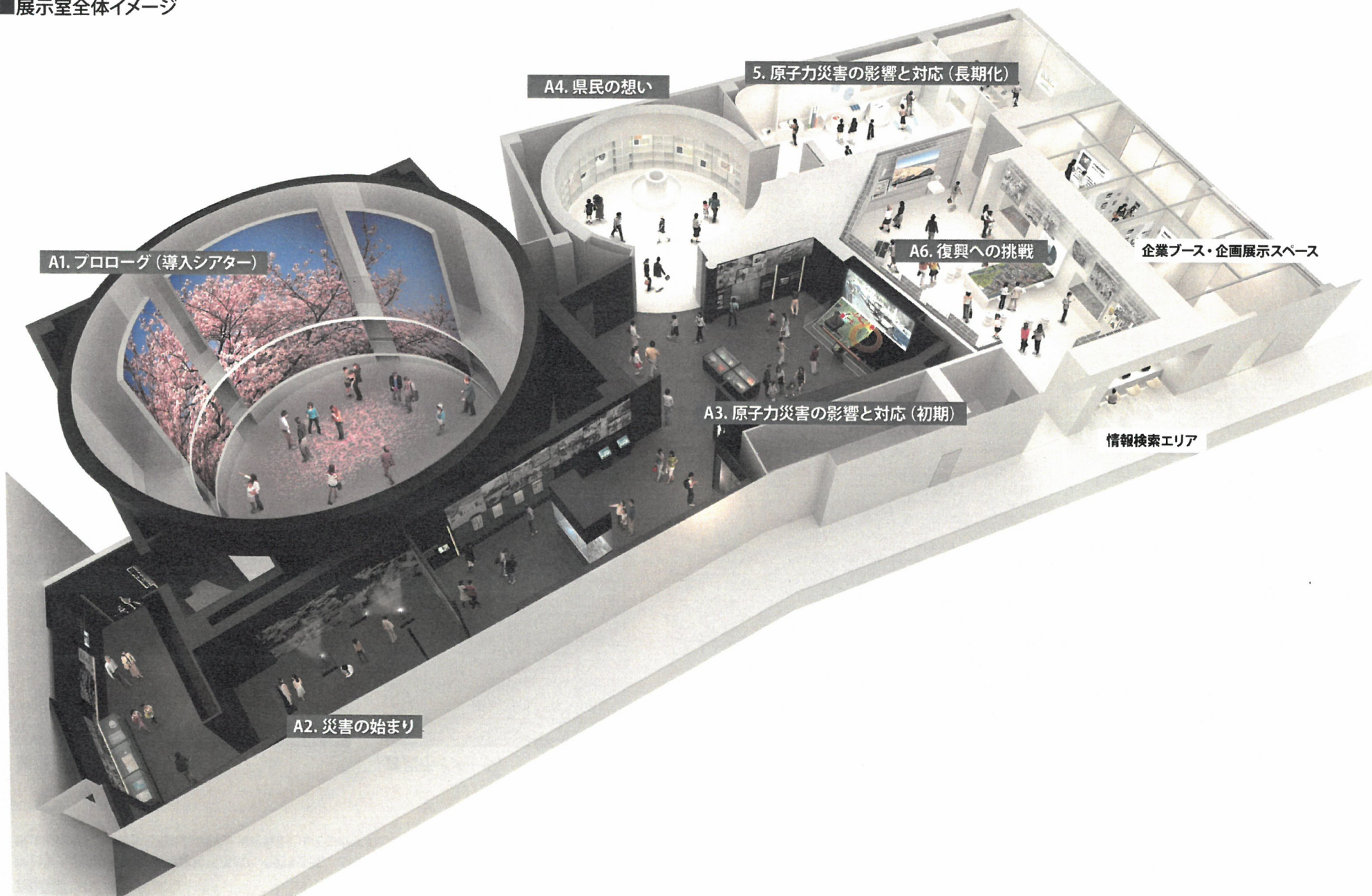
## ■面積配分

|                      | 面積    | 面積比率 |
|----------------------|-------|------|
| A1. プロローグ            | 586㎡  | 34%  |
| A2. 災害の始まり～安全神話の崩壊   | 196㎡  | 10%  |
| A3. 原子力災害の影響と対応（初期）  | 134㎡  | 7%   |
| A4. 県民の想い            | 116㎡  | 6%   |
| A5. 原子力災害の影響と対応（長期化） | 180㎡  | 10%  |
| A6. 復興への挑戦           | 180㎡  | 10%  |
| A7. 企業ブース・情報検索コーナー   | 130㎡  | 8%   |
| バックヤード（映像制御機器収納、倉庫）  | 181㎡  | 15%  |
|                      | 1700㎡ | 100% |

■展示平面計画 (2F) S=1/200



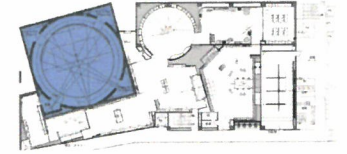
■展示室全体イメージ



## A1. プロローグ (導入シアター)

### ■概要

東日本大震災に続く原子力発電所事故の概略を記し、この災害の記録をアーカイブ化し、後世に受け継ぎ、災害から得た経験や反省を教訓として生かすことの意義を伝える。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

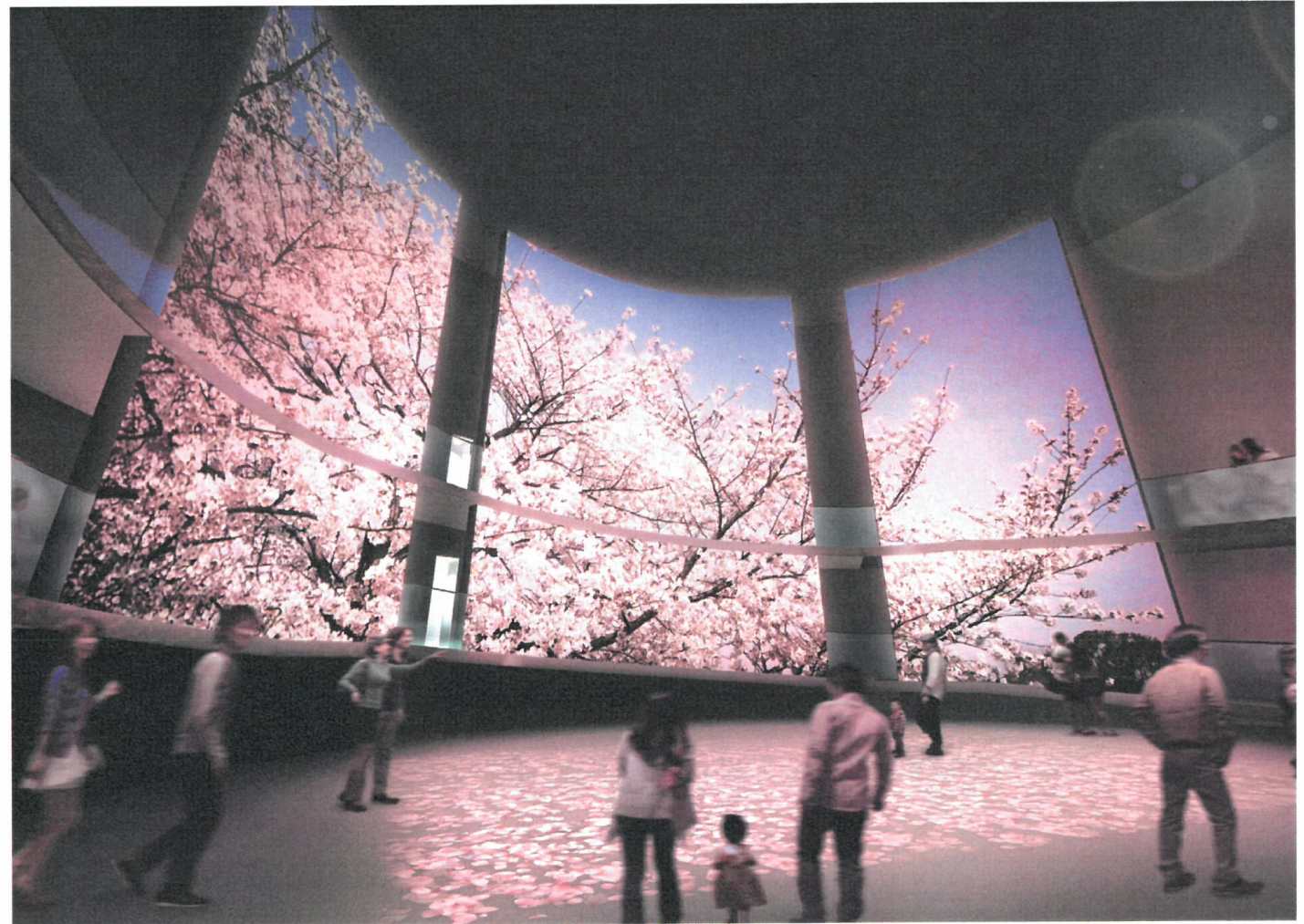
#### A1-1. 導入映像

原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。「災害」という形で、全く予期していなかったことがある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

#### A1-2. 通路展示

これから見学する各ゾーンのエッセンスを感じさせる展示物を導入部で一部見せることで、これから見学する展示全体への関心を高める。

### ■展示イメージ

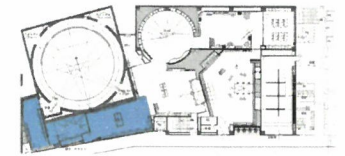


## A2.災害の始まり ～安全神話の崩壊～

### ■概要

原子力災害の前の平穏な暮らし、そのあたり前の日常を一変させた“地震”と“津波”、それに続く原子力発電所事故。誰もが初めて経験するこの複合災害の発生時に、国・県・市町村等行政組織、民間事業者等がどのように対応したのか、青天の霹靂のような事態に県民はどのよ

うな気持ちで受け止め、行動したのか。事故前、事故当時、事故直後の記録を時系列でたどり、様々な資料、証言、事故調査の記録から、原子力発電所事故の始まりを克明に、臨場感と共に描き出していく。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### A2-1. 事故前の暮らし

事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづついていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来場者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」との実感を生み、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらおうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。

#### A2-2. 東日本大震災 ～地震と津波の記録～

原子力発電所事故のきっかけとなった地震と津波をとりあげ、その前後において世界が全く異なってしまうことを象徴的に表現する。地震・津波前のゆるやかな時の流れと、地震・津波後の怒涛のごとく激しい時の流れの落差を際立たせ、その瞬間から全てが変わってしまったことを意識してもらうため、地震・津波が襲った瞬間、時が止まったような感覚を覚え、静かに、しかしはっきりとその瞬間の恐ろしさを感じさせる。

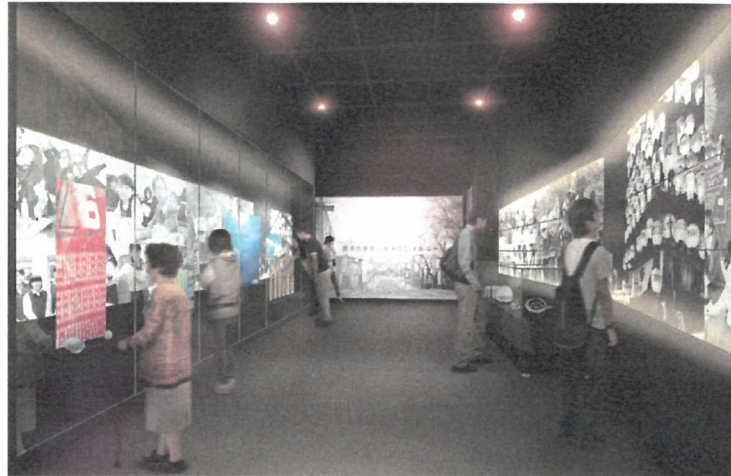
#### A2-3. 原発事故の発生

原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。安全に絶対はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。

#### A2-4. 国・県・市町村の災害対策本部の記録

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応するべきか、についての知見を得るきっかけとしても機能させる。

### ■主な展示内容



事故前の暮らし



東日本大震災 ～地震と津波の記録～

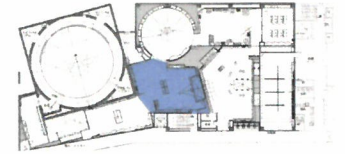


原発事故の発生/国・県・市町村の災害対策本部の記録

## A3.原子力災害の影響と対応(初期) ～放射線からの避難、事故への国内外からの注目～

### ■概要

着の身着のままの避難/情報の錯綜/避難生活の変遷。誰もが初めて経験する原子力災害直後の状況を、避難などの様子からその特殊性を訴求。国内外の事故事例などを参考とした県下での手探りの初期対応、国内外からの注目など、原子力災害の初動の記録と記憶を、証言などをもとに振り返り、後世への教訓の場とする。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### A3-1. 避難の開始

避難の様子や当時の証言を通し、取るものもとりあえず故郷を後に、先が見えないままに、避難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想像してもらい、共感の深化を図る。

また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での受け入れや、何度も避難先を変えなければならなかった避難者のことなど、当時の現地の様子を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしていたことを想像してもらい、当時の避難生活の苦しさ、災害への日頃の備えの重要性を訴求する。

#### A3-2. 県内全域に広がる不安

「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射能の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や科学的データに基づいた初期行動の重要性を改めて訴求する。

また、放射能の影響は、福島産業、特に農水産業への大きな打撃を与えた。未だに続く風評被害の始まりとして、事故後放射能の影響を受け、廃棄されなくてはならなかった大量の農産物の写真や映像などから、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。

#### A3-3. 国内外からの支援・反応

これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故が起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝える。

### ■展示イメージ



避難の開始/県内全域に広がる不安

## A4.県民の想い ～県下全域の「記憶」と「記録」～

### ■概要

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶（証言・筆跡・手記等）」と、県下の「記録（事実・データ等）」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評被害、それに

伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に後世に残す。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### 県民の想い

棚状の造作の中で、県民の想いをテーマ別に紹介。県民の想いを収録した「証言映像・手記」等と、「関連する資料」（実物、当時の記事、再現ミニチュア模型）などを交え紹介。一定の時間で、空間全体を使った映像演出により、県民の想いをストーリー仕立てて伝える。

#### A4-1. 災害時に感じた不安・恐れ

- ・震災当時の恐怖/原発事故発生を聞いた時のこと **[1]**
- ・火災で溶けた街灯、津波で流されたポストや交通標識、看板など **[2]**

#### A4-2. 楽しかった学校生活と突然の別れ

- ・学校の楽しかった思い出/友達のこと/遠足/部活クラスメイトの突然の引越し/母子避難 **[1]**
- ・楽しかった学校生活と突然の別れを示す資料 **[2]**

#### A4-3. 家族との思い出や地域生活と別れ

- ・家族旅行/行事（七五三、宮参り、結婚式等）/何気ない日常お祭りの思い出/街のイベントや年中行事代々引き継いだ田畑を後にする/近所の人との別れ **[1]**
- ・家族との思い出や地域生活（伝統、文化、絆）そしてそれらとの別れを示す資料 **[2]**

#### A4-4. 生活基盤の喪失と将来への不安

- ・牛車で泣き崩れる酪農家/出荷停止の農家/漁に出られない漁師/廃業した水産加工業者/宿のキャンセル相次ぐ旅館の女将妊産婦の不安/子供の健康不安（給食、外遊び、プール）/バラバラになった家族と一緒に暮らせるのか/避難先で出身地を隠す（差別）/結婚できるか/帰還するか否か/子供の運動不足による心身の健康不安原発への想い/家族の成長/新しい土地での出会い/新しい住居に想うこと **[1]**
- ・生活基盤の喪失と将来への不安を示す資料 **[2]**

#### 〈凡例〉

**[1]** 映像・音声資料

**[2]** 実物資料

### ■展示イメージ

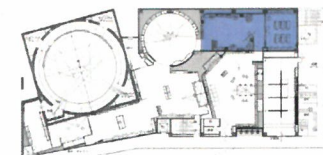


## A5.原子力災害の影響と対応（長期化） ～教訓を活かす原子力防災～

### ■概要

原子力災害が長期化する中で、ふくしま（特に避難市町村）がどのように対応してきたか、原子力災害の「影響」とその「対応」、そして「教訓」を資料や体験を通して学ぶことで、原子力防災につなげる。放射線測定機器や防護服など、場面場面で登場した機器を原子力防災に

関する教育や企業等の研修に活用し、気づき・学びを提供する場とし、県民健康調査等の状況を伝える。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### A5-1. 風評被害とその払拭

震災後、県内で実施されてきた風評被害払拭に向けた取り組みを紹介し、安全性等について理解してもらうことにより、福島県に対するマイナスのイメージを払拭してもらうきっかけとする。

#### A5-2. 除染

事故直後から、放射性物質がどのように除染されてきたのか、子どもを始めとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため現在進められている除染対策について紹介する。

#### A5-3. 長期避難と避難者への対応

長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康など複合的で、複雑な解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何ができるかを考えることにつなげる。また、この問題解決には物質的なケアだけでなく、心身のケアも合わせて両面から取り組まなくてはならないことを訴え、特に次世代を担う子供達、若者への継続的な支援の必要性を理解してもらう。

避難所から仮設住宅、そして帰還に向けて整備の進む復興公営住宅へと様々に移り変わった、避難者の住居の変遷を模型で辿り、改めて長期避難者の苦勞を知る。

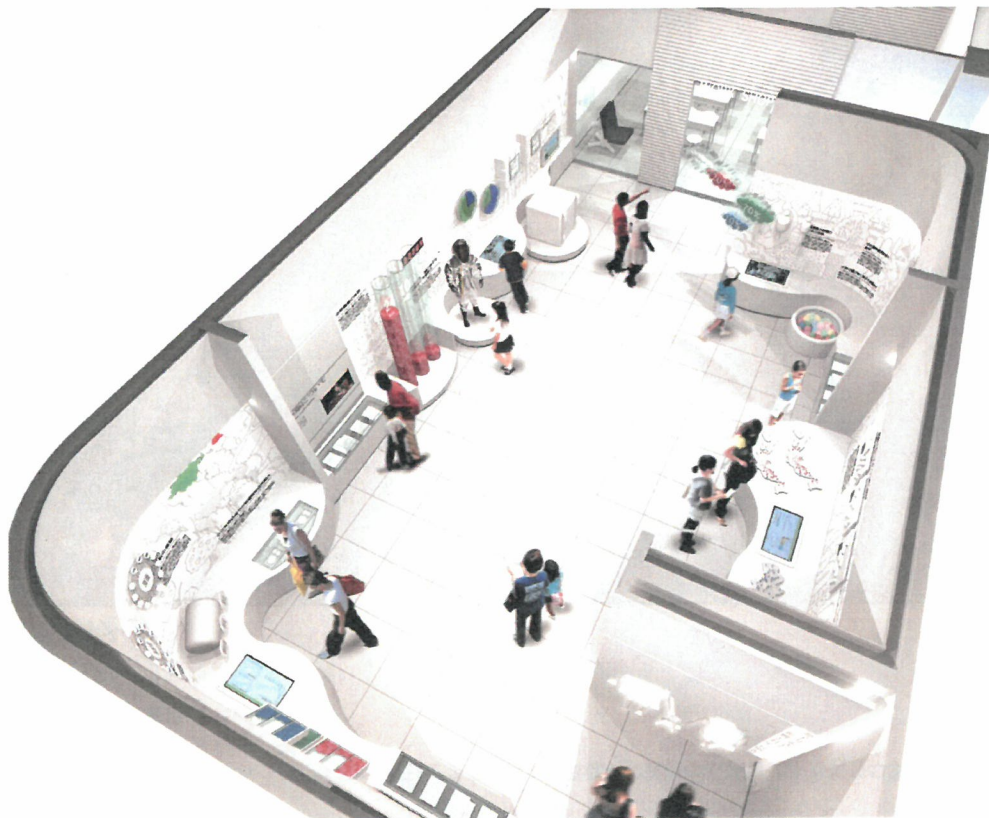
#### A5-4. 健康不安への対応

前例もないことから、放射線の健康への影響は未だに明らかになっておらず、長期の健康調査を継続して行っていく必要がある。そのような状況の中で、極力影響を減らすためにされている様々な対策について紹介する。また、事故以来実施されている県民健康調査について解説し、共有していくことで、放射線の健康への影響を客観的に捉え、後世へ伝えていくべき知見としていく。

#### A5-5. 研修・ワークショップスペース

原子力防災学習やワークショップ、研修が実施できるスペース。様々な資料、機器、装置を活用したデモや体験が可能。

### ■展示イメージ



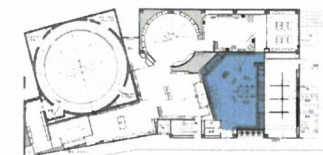
研修・ワークショップスペース

## A6.復興への挑戦-1

### ■概要

逆境を乗り越え、新たな農作物の栽培法の模索などの事例を通して、復興に挑戦するふくしまを紹介する。避難により離れざるを得なかった故郷にもう一度戻り、新しいまちづくりをすすめる、この世界初の取組み、将来像をリアルタイムに発信。人、産業、暮らし、など生活を

りまく多くのシーンでうけた風評被害の克服の過程、国を挙げてのチャレンジ、これらの状況を開示し、復興を実感、避難者の帰還を促進する。



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### A6-1. 行政による復興への取り組み

復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する情報など、更新可能な展示システムとすることで、常にここに来れば復興に関する新しい情報を得られる場所にする。また、災害の発生からこれまでの復興の歩みについても紹介する。

#### A6-2. 廃炉の今

福島第一原子力発電所における廃炉がどういった作業なのかを建屋に見立てたオブジェクトに立体映像を表示する技術により伝える。また、事故発生から現在に至るまでのタイムラインを自由に変え、その時の建屋の外、中など廃炉の経過を伝える。あわせてこれまでの経過や全体工程の中での進捗、廃炉に関連して開発された技術などの情報発信を行う。

#### A6-3. 福島イノベーション・コースト構想の取組

震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す福島イノベーション・コースト構想と連携した、先端技術の紹介や企業との連携スペースとする。新産業のフィールドへの回遊の誘導、ツーリズムの紹介などを行うゲートウェイとして機能する。

未来の福島の復興に関わる再生エネルギー、そのほか先端科学技術のデモンストレーションを行い、未来のビジョンを共有し、復興を推し進める契機となるような場づくりを行う。また、復興年表の検索・閲覧に加え、週末や団体対応時などは、12市町村を始めとする県下の「語り部」の方が、自らの経験、復興や郷土への想いを語るステージとして利用。若手の語り部育成の場としても活用。

#### A6-4. FUKUSHIMA 12

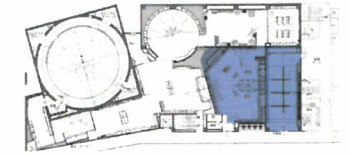
原子力発電所事故により避難を余儀なくされた福島県の12市町村について、国の目指す将来像を提示するとともに、12市町村の復興の進捗情報と未来のビジョンについて共有する場。この場を活用し、帰還へのさらなる足がかりとする。

常に最新の情報を提供するため、グラフィック、映像、実物展示などに対応したフレキシブルな展示システムとする。

### ■展示イメージ



## A6.復興への挑戦-2



キープラン/全体平面と該当場所

### ■展示項目

#### A6-5. 未来の街

災害や事故を乗り越えて、これまで以上に魅力ある新たな街に生まれ変わる福島の未来に期待し、展示の締めくくりとする。ここでは震災・原子力発電所事故後、様々な困難に遭い、未だに立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に想像してもらおう。

#### A6-6. 県民による復興への取り組み (チャレンジ!ふくしま)

原子力災害によって住民に課せられた数々の課題。それを乗り越えるため、地元の特産や銘品などを新たな解釈で再生させ、ブランドとして価値向上させるなど、前向きに復興へ踏み出す数々のビジネスや生活の取り組みについて紹介する。展示の内容については、随時更新可能とし、常に新しい取り組みを紹介するとともに、とともに、県民の未来へのメッセージを伝える。

#### 企業ブース・企画展示スペース

福島の復興を支える民間事業者の展示や、新しい技術の紹介を行う。また、企画展示スペースとしても活用する。

#### 情報検索コーナー

デジタルアーカイブの情報を来館者に提供し、資料によっては資料閲覧室での確認を可能とする。また、東日本大震災・原子力災害は、社会にスマートフォンが普及してからはじめての大規模災害だったこともあり、県民の多くが位置情報を持った写真や動画を撮影していることが想定される。デジタルアーカイブ、HPと連携し、開館後も来館者がデータを登録していくことができる仕組みを導入する。

### ■展示イメージ



未来の街/県民による復興への取り組み (チャレンジ!ふくしま)



情報検索コーナー

## ユニバーサルデザインの採用

子どもから高齢者、外国人、全ての利用者にやさしい施設を実現するため、空間・展示ケース等（ハード）と情報（ソフト）、2つの観点からユニバーサルデザインを採用する

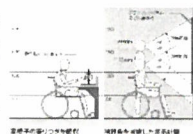
### 展示空間のユニバーサルデザイン

#### ○ゆったりとした動線幅を確保

団体の利用を考慮し、観覧動線の幅は2m以上の確保を基本とします。来館者どうしが交錯することなくゆったりと展示を観覧出来る展示環境づくりを心がける。

#### ○車椅子利用者への配慮

展示ケースの車椅子の寄り付きスペースの確保や、車椅子利用者の目線の高さを考慮したグラフィックなど、車椅子利用者にもやさしい「人間工学」に基づく展示設計を行う。

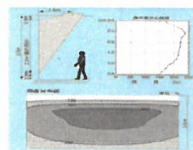


#### ○安全に配慮したデザイン

装置や什器の鋭角、突起物等の危険部位を排除し、頭上や足下等見えにくい場所にも十分な安全配慮を行うなど、展示全般を通じて、利用者の観覧行動を予測した安全対策を行います。

#### ○視認性を高める展示室内の照度設定

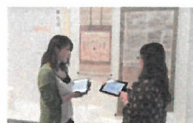
快適な観覧に配慮し、スポットライトなど展示スペースの照明の照度設定の適切化を実施。展示コーナーごとに照度の計測を行いながらシューティングシミュレーションを行う。



### 情報のユニバーサルデザイン

#### ○多言語対応

- ・世界に向けて原子力災害の経験を発信する施設として、海外からの来館を見据える必要があるため、言語は、日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ロシア語の6か国語対応を原則とする。
- ・グラフィックや映像などの詳細解説については、6か国語表記をするのではなく、貸出用のタブレットを活用して対応する。

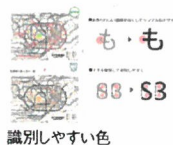


#### ○来館者に合わせた情報提供

- ・本施設には、県民をはじめ、民間事業者、研究者、国・自治体関係者から教育旅行者まで幅広い来館者が想定される。情報端末や貸出用タブレット（多言語対応と共通）を活用し、それぞれの来館者が自分の知識や興味のレベルに合わせて、必要な情報を閲覧できるようにする。

#### ○配色・フォントの配慮

- ・展示パネルやパソコンの画面の表現において、視覚の不自由な方でも判読できる文字の大きさや色の組合せに配慮します。色覚バリアフリーシミュレーションソフトを活用し検証を行う。



識別しやすい色

## 維持管理・運営効率の向上

展示のフレキシブルな更新性や、維持管理コストの低減にも十分配慮する

### 維持管理負担の低減

#### ○LED照明の採用

- ・ミニハロゲン電球用器具と比べて消費電力約85%削減
- ・従来の蛍光灯より電気代が約半分以下、省エネ効果抜群
- ・紫外線、赤外線などの有害光線がほとんど含まれず、展示資料の劣化を低減
- ・紫外線を好む虫が寄らず清掃・メンテナンスコストも低減



オリジナルLED照明の開発

#### ○レーザーorLEDプロジェクターの採用

液晶と較べて劣化が少なく長期間安定した映像を実現。待機電力が約0.5W、ランニングコストが約1/2に低減。ランプは最大20000時間まで使用可能。天吊状態でランプ交換が可能。



### 更新性の確保

#### ○情報更新が容易な解説パネルシステムの導入

- ・システムウォールの採用など、解説パネルや実物資料の入替が容易な展示システムとすることで、調査研究や復興の進展などに合わせたタイムリーに展示情報の更新を可能とする。

#### ○情報コンテンツの一元管理

- ・現在進行形で変わる福島の姿をリアルに伝える展示コンテンツとするため、映像等の情報コンテンツはサーバーによる一元管理とし、館のスタッフが管理用データベースからコンテンツを更新できるシステムとする。

## A1. プロローグ

---



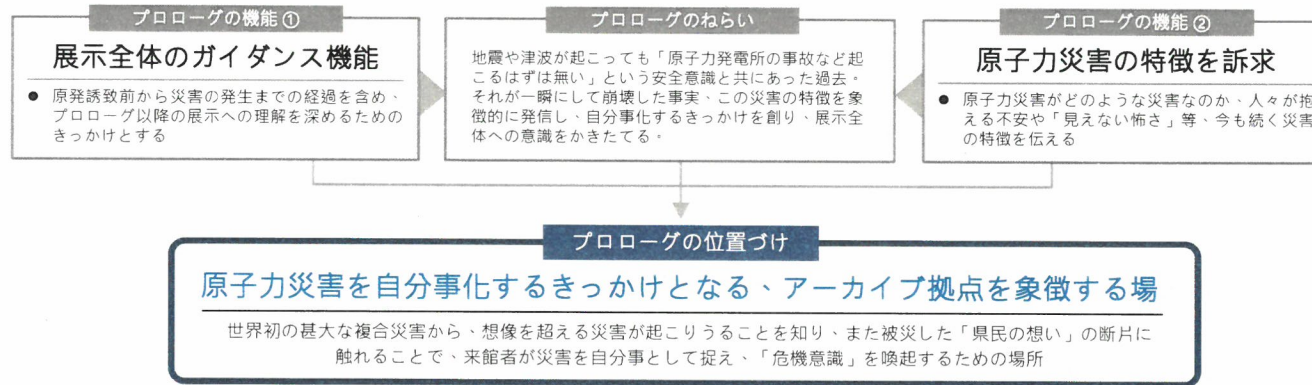
|               |                |            |                  |
|---------------|----------------|------------|------------------|
| 大項目: A1 プロローグ | 小項目: A1-1 導入映像 | アイテム: 導入映像 | 工種: 映像 7面マルチモニター |
|---------------|----------------|------------|------------------|

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。「災害」という形で、全く予期していなかったことがある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

## プロローグ ( 導入シアター ) について

### ■プロローグの位置づけ



### ■展開のポイント

#### 1 アーカイブ拠点を象徴する展示・空間構成

- 1階の展示エントランスを入ってすぐの吹き抜け全体を演出空間としたプロローグ ( 導入シアター ) とする
- 原発誘致前から災害のはじまり、その後の混乱までをタイムラインに沿って展開し、原子力災害の特徴を含め災害への理解を深めるきっかけとする
- 「事故前の日常」や「原子力災害のさまざまな側面」、そして「県民それぞれの想い」といった「記録」と「記憶」を埋もれさせることなく、伝えていくことができる演出空間とする

#### 2 災害を自分事として認識するための演出

- シームレスの大型のスクリーンではなく、空間を覆うように複数のスクリーンを設け、床面を含めて映像投影・照明演出を行い、立体的な効果を創出する
- 来館者が映像に包まれるような没入感、臨場感の高い演出とすることで、被災者が体験してきたことを同じ目線で伝え、災害を自分事として受け入れてもらう
- プレゼンテーションや解説を極力少なくし、事実を淡々と伝えていくことで来館者の気づきを促す

#### 3 展示エリアへとスムーズに誘うアプローチ

- 60名以上の来館者が待機時間なくプロローグ ( 導入シアター ) に入れる十分なスペースを確保する
- 映像観覧スペースの周囲に、2階展示エリアへと続くスロープを設け、その途中に原発誘致前から復興への挑戦までの「記録」と「記憶」の断片を伝えるアーカイブ展示を設け、展示全体のインデックスとする
- 演出空間となるスロープを設けることで、来館者をゆるやかに展示室へと誘導し、大勢が一気に展示室エリアになだれ込むことを避ける

コメント

参考

|               |                |            |                  |
|---------------|----------------|------------|------------------|
| 大項目: A1 プロローグ | 小項目: A1-1 導入映像 | アイテム: 導入映像 | 工種: 映像 7面マルチモニター |
|---------------|----------------|------------|------------------|

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。「災害」という形で、全く予期していなかったことがある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということ、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

## プロローグ ( 導入シアター ) 構成案 映像の流れ

### ① 今の福島

#### ○福島本来の美しさ

「うつくしまふくしま」を体現する美しい自然と、人々の生き生きとした生活から映像はスタート。

#### 【映像内容 ( 仮 )】

相馬野馬追、猪苗代湖、三春滝桜、五色沼、三の倉高原、磐梯吾妻スカイライン、冬の犬内宿・尾瀬、磐梯山、猪苗代湖、半田自然公園、高柴山つつじ、乙字ヶ滝、松川浦、塩屋崎灯台等、働く人々、ドローンを駆使した迫力のマルチ映像演出。



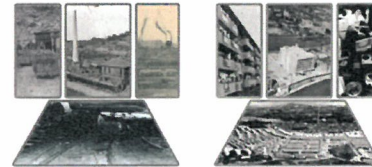
### ② 福島の歴史とエネルギー変遷

#### ○福島に原子力発電所ができた理由

戦前・戦後と福島は林業や石炭業で日本の経済を支えていた。また、福島は国策である原子力発電所の建設を受け入れ、地元へ雇用を生み出した。

#### 【映像内容】

戦前戦後の福島の産業を当時の資料や坑道内部をイメージさせる映像で構成します。



### ③ 原発と町と住民の共存共栄の様子

#### ○原子力発電所の完成と事故前の町

原子力発電所の電気が東京に送られる。そして住民との共存の日々。そこには明るい未来を信じ、笑顔あふれる暮らしがあった。

#### 【映像内容】

資料映像を中心に構成。建築中の原子力発電所や、原発が完成した当時の様子。また、人々の笑顔や暮らしを素材を使い紹介します。  
\* 例「明るい未来...」の看板。アトムまんじゅう



### ④ 3.11

#### ○3.11を体感する

誰も経験したことが無い巨大地震。30分後の津波の始まりは地震からだった。

町に押し寄せる津波、ついに原子力発電所も恐れていた全電源停止に！

たたみかけるような恐怖感が襲う...

#### 【映像内容】

地震から原子力発電所建屋の水素爆発までを、まるでそこで起こっているかのような臨場感あふれる全画面マルチスクリーンで表現します。

全てを素材編集で構成するのではなく、地震の揺れ感、緊急停止後の原子力発電所内での混乱の様子、画面に向かい襲ってくる巨大津波など、災害の始まりを体感的迫力を重視して構成します。



### コメント

映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|               |                |            |                  |
|---------------|----------------|------------|------------------|
| 大項目: A1 プロローグ | 小項目: A1-1 導入映像 | アイテム: 導入映像 | 工種: 映像 7面マルチモニター |
|---------------|----------------|------------|------------------|

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。「災害」という形で、全く予期していなかったことがある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

## プロローグ ( 導入シアター ) 構成案

### ⑤ 原発爆発～避難

#### ○避難時の恐怖感を映像化

大気中に放出される放射性物質。暗闇の中の移動・搬送される病院の患者。避難先では検査員達から、避難者が線量を計測される。

#### 【映像内容】

当時の素材を交え、避難する方々の目線イメージカット ( 主観映像 ) も挿入することで、避難時の困難さを追体験していただきます。目線イメージとしては、検査員に検査される避難者の様子や、避難者の見た町等々。

Photo



### ⑥ 避難を余儀なくされた町

#### ○事故後の町

避難直後から、数年経過した町のイメージ。残された動物たち。言われもない風評。観光客のキャンセルが増え、地元の観光産業、農業は大打撃を受ける。

#### 【映像内容】

追い打ちをかける、避難生活の困難さ、人が住めなくなることの恐怖感を描きます。人がいない町や、耕作されなくなった畑など主観映像を入れる事で、だれもが日常から、災害という非日常に巻き込まれる可能性がある事を示唆します。



### ⑦ 除染～廃炉へ

#### ○未来への予感

避難生活が長期化しているが、同時に除染作業や廃炉作業も進み、住民は順次帰還を開始。復興へ向かう明るい兆しを見せる。

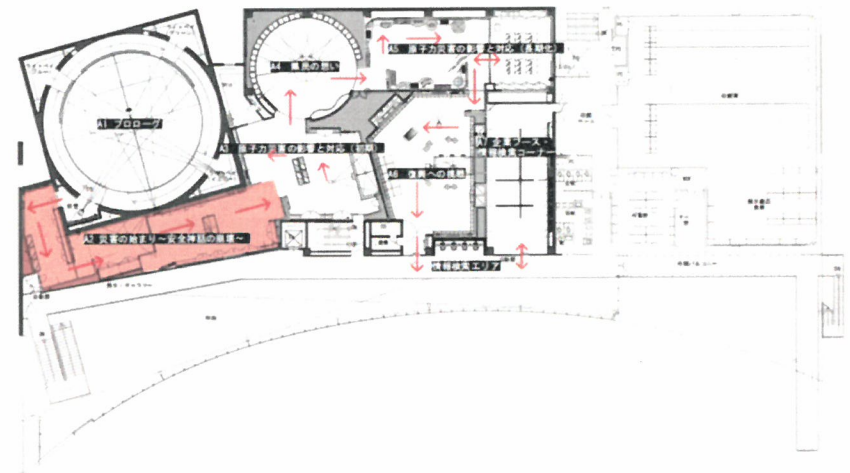
#### 【映像内容】

長期化する避難生活、除染作業、廃炉作業、避難解除に伴う住民の帰還に関する映像を組み合わせ、徐々に復興へ向かっていく様子を表現します。



コメント

## A 2. 災害の始まり～安全神話の崩壊～



|               |                     |             |   |   |
|---------------|---------------------|-------------|---|---|
| No.<br>G2-0-1 | 項目名<br>災害の始まり ゾーン導入 | 種類<br>ゾーン解説 | 中項目<br>A2-0 ゾーンサイン&イントロ   | 大項目<br>A2 災害の始まり～安全神話の崩壊  |
|               |                     |             | <p>ねらい</p> <p>原子力災害の前の平穏な暮らし、その当たり前の日常を一変させた“地震”と“津波”、それに続く原子力発電所事故。誰もが初めて経験するこの複合災害の発生時に、国・県・市町村等行政組織、民間事業者等がどのように対応したのか、青天の霹靂のような事態に県民はどのような気持ちで受け止め、行動したのか。事故前、事故当時、事故直後の記録を時系列でたどり、様々な資料、証言、事故調査の記録から、原子力発電所事故の始まりを克明に、臨場感と共に描き出していく。</p> | <p>コメント</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">参考</a></p> |
| 解説文(案)        |                     |             | <p>仕様</p> <p>サイズ</p> <p>展示内容</p> <p>A2-0 ゾーンサイン&amp;イントロ<br/>A2-1 事故前の暮らし<br/>A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録<br/>A2-3 原発事故の発生<br/>A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録</p>  |   |
|               |                     |             | 備考  |   |

| No.<br>G2-1 | 項目名<br>事故前の暮らし コーナー導入 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A2-1 事故前の暮らし  | 大項目<br>A2 災害の始まり～安全神話の崩壊  |
|-------------|-----------------------|--------------|--|---|
|             |                       |              | <p>ねらい</p> <p>事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづけていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来場者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」との実感を生み、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらおうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。</p> | <p>コメント</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div>  |
|             |                       |              | <p>仕様</p>  |   |
|             |                       |              | <p>サイズ</p>   |   |
|             |                       |              | <p>解説文(案)</p>  | <p>展示内容</p> <p>A2-1-0 ○証言映像</p> <p>A2-1-1 ○原発事故はここで起こった(地図解説)</p> <p>A2-1-2 ○祭事・行事・地域の日常を示す映像</p> <p>○事故前の原発立地周辺の産業に関する情報(解説)</p> <p>○実物資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に関する実物資料</li> <li>・地域の伝統(行事、祭り)を伝える実物資料</li> </ul> <p>A2-1-3 ○原発と地域社会(解説)</p> <p>○実物資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発のPR、地域との関係に関わる資料</li> </ul> <p>備考</p> |



|             |                               |              |  |   |
|-------------|-------------------------------|--------------|--|---|
| No.<br>G2-2 | 項目名 東日本大震災～地震と津波<br>の記録コーナー導入 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録  | 大項目<br>A2 災害の始まり～安全神話の崩壊  |
|             |                               |              | <p>ねらい</p> <p>原子力発電所事故のきっかけとなった地震と津波をとりあげ、その前後において世界が全く異なってしまうことを象徴的に表現する。地震・津波前のゆるやかな時の流れと、地震・津波後の怒涛のごとく激しい時の流れの落差を際立たせ、その瞬間から全てが変わってしまったことを意識してもらうため、地震・津波が襲った瞬間、時が止まったような感覚を覚え、静かに、しかしはっきりとその瞬間の恐ろしさを感じさせる。</p> | <p>コメント</p> <div data-bbox="1816 296 1910 336" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
| 解説文(案)      |                               |              | <p>展示内容</p> <p>A2-2-0 ○証言映像<br/>A2-2-1 ○津波・震災の様子(映像)<br/>○実物資料<br/>・発災時間の記録資料<br/>・津波の記録、痕跡資料<br/>・地震の記録</p>   |   |
|             |                               |              | 備考   |   |

|                         |                            |                |                      |
|-------------------------|----------------------------|----------------|----------------------|
| 大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目: A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ | アイテム: 津波・震災の様子 | 工種: 映像コンテンツ(3面マルチ映像) |
|-------------------------|----------------------------|----------------|----------------------|

【コンテンツ仕様】 3面プロジェクター 映像尺:約3分 映像フォーマット:Hi-Vision×3 ナレーション:あり テロップ:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:ループ再生

展示のねらい 原発事故のきっかけとなった地震と津波を取り上げ、その前後において世界がまったく異なってしまうことを象徴的に表現する。

平穏な日常が一瞬にして奪われてしまった2011年3月11日。福島県沿岸部を壊滅させた東日本大震災の恐ろしい様相を、実写映像のみで伝える。予測不能の自然災害がもたらした恐怖と被害の現実を、時系列に沿って3面マルチ映像で映し出す。



コメント

映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

■映像展開イメージ ※NHK、地元TV局の素材を調査の上、詳細の検討をする

**14時46分** 東北地方太平洋沖地震発生  
 2011年3月11日、14時46分18秒。突然の大地震に襲われる東北地方。県内各地の様相を映し出す。

- ・揺れる建物
- ・地割れ
- ・飛散する窓ガラス
- ・火災
- ・逃げ惑う人々
- ・混雑に陥る駅構内
- ・定点カメラが捉えた地震の瞬間など

2011年3月11日  
14時46分18秒

Photo

**15時20分頃** 福島県沿岸部に津波到来  
 そのわずか30分後、巨大な津波が押し寄せる沿岸部の様子がら原発にも押し寄せる津波を取り上げる。

- ・沿岸部各地を襲う津波
- ・流される車
- ・津波が原発に迫る様子
- ・被災後の情景
- ・定点カメラが捉えた津波の様子
- ・次々と浸水する家屋
- ・南相馬かしまの一本松など

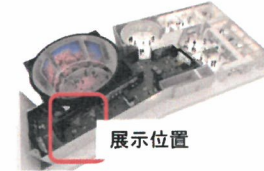
Photo

|                        |                           |           |                     |
|------------------------|---------------------------|-----------|---------------------|
| 大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目:A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ | 展示区分:実物資料 | 資料区分:地震と津波の脅威を伝える資料 |
|------------------------|---------------------------|-----------|---------------------|

資料区分理由:原発事故のきっかけとなった、地震と津波の痕跡・自然災害の脅威を伝える資料。

A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～

原子力発電所事故のきっかけとなった地震と津波をとりあげ、その前後において世界が全く異なってしまうことを象徴的に表現する。地震・津波前のゆるやかな時の流れと、地震・津波後の怒涛のごとく激しい時の流れの落差を際立たせ、その瞬間から全てが変わってしまったことを意識してもらうため、地震・津波が襲った瞬間、時が止まったような感覚を覚え、静かに、しかしはっきりとその瞬間の恐ろしさを感じさせる。



・コメント

参考

| ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～                   | ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～                   | ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ | ゾーン         | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～                   |
|-------|---|-------|---|-------|-----------------------|-------------|---|
| NO.   | 023                                     | NO.   | 024                                     | NO.   | 025                   | NO.         | 026                                     |
| 資料名   | ・地震の時間を示す時計                             | 資料名   | 地震の時間を示す時計(腕時計)                         | 資料名   | ・津波の時間を示す時計           | 資料名         | ・津波の時間を示す時計(腕時計)                        |
|       |   | Photo |   | Photo |                       | Photo Photo |   |
| 寸法W・H | W 300φ                                  | 寸法W・H | W28×H 80                                | 寸法W・H | W 700φ                | 寸法W・H       | W28×H 80                                |
| 保全・収集 | FURE・保原高校                               | 保全・収集 | ○○○                                     | 保全・収集 | ○○・○○○○○○○○○○         | 保全・収集       | ○○○                                     |
| 出典・備考 | ※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中、最終的には○○○に寄託を調整中 | 出典・備考 | ※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中、最終的には○○○に寄託を調整中 | 出典・備考 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  | 出典・備考       | ※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中、最終的には○○○に寄託を調整中 |

| ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ | ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～ | ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～                   | ゾーン   | A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～                   |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------|-------|---|-------|---|
| NO.   | 027                   | NO.   | 028                   | NO.   | 029                                     | NO.   | 030                                     |
| 資料名   | ・ブリクラ帳                | 資料名   | 津波ラインが残る野球場のカー        | 資料名   | ・○○小学校の吊り鐘                              | 資料名   | ・被災○○高校アルバム                             |
| Photo |                       | Photo |                       | Photo |   | Photo |   |
| 寸法W・H | W300×H 200            | 寸法W・H | 950×3000(1枚)          | 寸法W・H | W300φ×H 400                             | 寸法W・H | W300×H 360                              |
| 保全・収集 | ○○○                   | 保全・収集 | ○○・○○○○               | 保全・収集 | ○○○                                     | 保全・収集 | ○○○                                     |
| 出典・備考 | ○○○○○・○○○○            | 出典・備考 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  | 出典・備考 | ※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中、最終的には○○○に寄託を調整中 | 出典・備考 | ※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中、最終的には○○○に寄託を調整中 |

|             |   |              |  |  |
|-------------|---|--------------|--|--|
| No.<br>G2-3 | 項目名 原発事故の発生<br>コーナー導入   | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A2-3 原発事故の発生  | 大項目<br>A2 災害の始まり～安全神話の崩壊   |
|             |   |              | <p>ねらい</p> <p>原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。安全に絶対はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。</p> | <p>コメント</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
|             |   |              | 仕様   |  |
|             |   |              | サイズ  |  |
| 解説文(案)      | <p>展示内容</p> <p>A2-3-0 ○証言映像</p> <p>A2-3-1 ○<u>原発事故解説映像</u></p> <p>○原発模型</p> <p>○<u>5重壁の崩壊</u></p> <p>(デジタルコンテンツ)</p> <p>○チェルノブイリ、スリーマイル、JCO事故等との比較(解説)</p> <p>○<u>実物資料</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事</li> <li>・原発事故による痕跡資料</li> <li>・原発事故対応当事者の生の記録</li> </ul> |              |  |  |
|             |   |              | 備考   |  |

|                        |                  |  |                    |
|------------------------|------------------|--|--------------------|
| 大項目：A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目：A2-3 原発事故の発生 | アイテム：A2-3-1 原発事故解説映像<br>(事故記録 / 中央制御室の写真・動画) | 工種：映像コンテンツ(モニター映像) |
|------------------------|------------------|--|--------------------|

【コンテンツ仕様】表示機器：プロジェクター 映像尺：約2分 映像フォーマット：Hi-Vision ナレーション：あり 音楽：あり 効果音：あり 言語：日本語のみ プログラム：人感センサーによるスタート

展示のねらい 災害前の福島第一原子力発電所の災害前の様子から、地震発生、電源喪失、メルトダウン、水素爆発、放射性物質の放出までを、福島第一原発のジオラマとその上に設置された瞬間調光ガラスを活用した演出映像で紹介する。原発事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。安全に絶対はないということ、災害は起こりえるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。

●原発事故の発生 P-1



瞬間調光ガラスを活用したガラススクリーン面で映像が始まる

| visual                  | image | comment  |
|-------------------------|-------|--|
| 地震素材<br>と日付のスーパー        | Photo | 【NA】<br>2011年3月11日午後2時46分<br>三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の<br>東北地方太平洋沖地震が発生しました。      |
| 自動停止する原子炉<br>外部電源が喪失    | Photo | 運転中だった福島第一原子力発電所<br>1～3号機の原子炉は地震ですべて自動停止・<br>さらに地震による停電で外部電源を喪失。             |
| 非常用<br>ディーゼル発電機が起動      | Photo | すぐに非常用ディーゼル発電機が起動し、<br>電源供給が再開されました。   |
| 施設の全体図<br>配置関係図         | Photo | 災害当時、4～6号機は<br>定期点検中で停止していました。   |
| 巨大な津波が襲う<br>素材 + CG素材   | Photo | 地震発生の50分後、<br>想定外の約15mもの巨大な津波が<br>原発を襲います。                                   |
| 破損する原発施設<br>敷地全体が水浸しになる | Photo | 海側に設置された原子炉の熱を海に<br>逃がすためのポンプなどの屋外施設が破損・<br>敷地全体が水浸しに。                       |
| 海水に発電機がつかかり、<br>全電源喪失   | Photo | さらに、非常用ディーゼル発電機は<br>地下に設置されていたため、海水につかり<br>全電源喪失。                            |
| 注水ができなくなる               | Photo | それにより、高熱になる原子炉内部や核燃料<br>プールを冷やすための注水ができなくなり、<br>計測機器も含め安全上重要な機能をすべて失<br>います。 |

●原発事故の発生 P-2

| visual  | image | comment   |
|---|-------|---|
| CGで熱くなる<br>原子炉内部の様子<br>核燃料ペレットが<br>圧力容器の底に落ちる | Photo | 【NA】<br>津波から約4時間後、<br>核燃料が自らの熱で溶け出し、<br>1～3号機の核燃料ペレットが、<br>原子炉圧力容器の底へ落下。                        |
| スーパーなどで<br>メルトダウンをフォロー                        | Photo | それが炉心溶解、メルトダウンです。   |
| CGで<br>大量の水素が<br>建屋内部に発生<br>充滿                | Photo | 露出した燃料棒の表面が圧力容器内の水蒸気と<br>反応し、大量の水素が発生。原子炉建屋・ター<br>ビン建屋に充滿しました。<br>元々停止中であった4号機にも配管を通じ<br>水素が充滿。 |
| 水素爆発<br>実写素材                                  | Photo | そして、津波から24時間後、<br>3月12日午後3時36分に1号機が水素爆発。<br>そして3、4号機も続けて水素爆発を起こしまし<br>た。                        |
| 壊れた原子炉建屋                                      | Photo | その爆発で大量の放射性物質が、大気中や<br>海洋、土壌に放出されました。<br>まさに想定外の事態が重なって広がった<br>災害だったのです。                        |

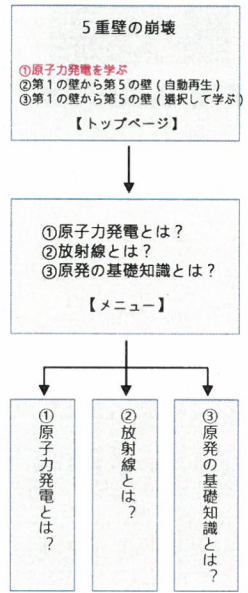
コメント

シナリオ文言や映像構成に  
ついてはイメージ段階のため、  
素材調査後、改めて精査い  
たします。  
現段階では、全体の流れに  
ついて御検討をお願いいたし  
ます。

|                         |                   |                     |                 |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|
| 大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目: A2-3 原発事故の発生 | アイテム: A2-3-1 5重壁の崩壊 | 工種: タッチパネルコンテンツ |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネルディスプレイ2台、パソコン2台

展示のねらい 安全に絶対はないということ、災害は起こりえるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。原発、放射線の基礎知識を選択で学び、何故安全と言われた5重壁が破られたのかをデジタルコンテンツで学習する。



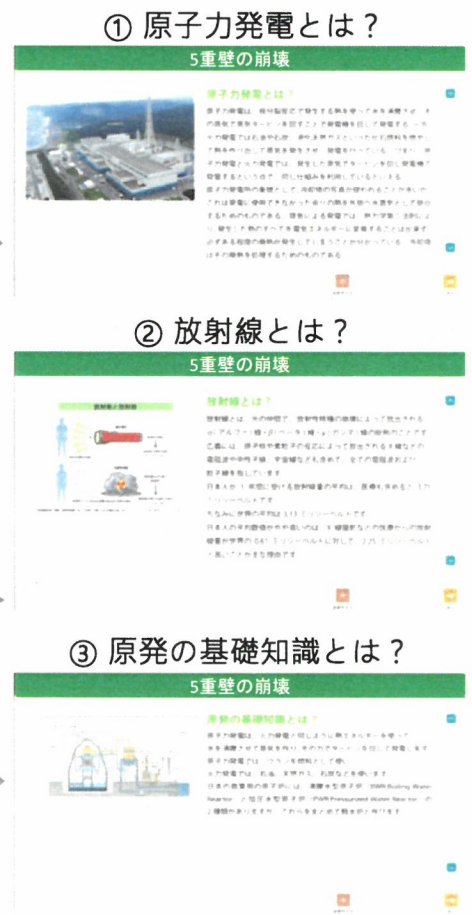
■ 原子力発電の仕組みからこれまで安全対策と言われた 厳重な5重の壁の崩壊までを学ぶ



・トップ/待機画面  
・見たい項目をタッチして選択



・「原子力発電所とは?」「放射線とは?」「原発の基礎知識」についての解説を写真、テキストで表示  
・3つのアイコンの中から一つを選択して画面の切替



・各ページの解説をテキスト、写真、図を用いて行う  
・左右下のアイコンで画面切り替え、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

コメント  
映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                         |                   |                     |                 |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|
| 大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目: A2-3 原発事故の発生 | アイテム: A2-3-1 5重壁の崩壊 | 工種: タッチパネルコンテンツ |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネルディスプレイ2台、パソコン2台

展示のねらい 安全に絶対はないということ、災害は起こりえるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。  
 原発、放射線の基礎知識を選択で学び、何故安全と言われた5重壁が破られたのかをデジタルコンテンツで学習する。

コメント

**5重壁の崩壊**

①原子力発電を学ぶ  
 ②第1の壁から第5の壁(自動再生)  
 ③第1の壁から第5の壁(選択して学ぶ)

【トップページ】

↓

第1の壁: 燃料ペレット

↓

第2の壁: 燃料被覆管

↓


第3の壁: 原子炉圧力容器

↓

第4の壁: 原子炉格納容器

↓

第5の壁: 原子炉建屋



**5重壁の崩壊**


- ・ トップ / 待機画面
- ・ 見たい項目をタッチして選択

↓

- ・ 「第1の壁～第5の壁」についての解説を写真・テキストで表示
- ・ 5重壁がどのように破られたのかについても解説していく
- ・ スライドショー形式で自動的に画面が切り替わる

**第1の壁: 燃料ペレット**

5重壁の崩壊



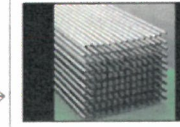
**第1の壁: 燃料ペレット**

燃料ペレットは、直径10mm、長さ10mmの円柱状のものです。原子炉においては、中核の中核になっているペレットもある。使用されるペレットは、燃料ペレットの製造過程で、燃料ペレットは燃料ペレットが製造されています。

燃料ペレットは、直径が10mmであるため、原子炉の燃料管に挿入し、加熱してより大きな燃料管を形成します。また、燃料ペレットは燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置する燃料管の両側に配置する燃料管の両側に配置する。

**第2の壁: 燃料被覆管**

5重壁の崩壊




**第2の壁: 燃料被覆管**

燃料被覆管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料被覆管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料被覆管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料被覆管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。

**第3の壁: 原子炉圧力容器**

5重壁の崩壊




**第3の壁: 原子炉圧力容器**

原子炉の燃料管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。

**第4の壁: 原子炉格納容器**

5重壁の崩壊

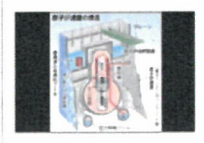


**第4の壁: 原子炉格納容器**

原子炉の燃料管は、燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。

**第5の壁: 原子炉建屋**

5重壁の崩壊



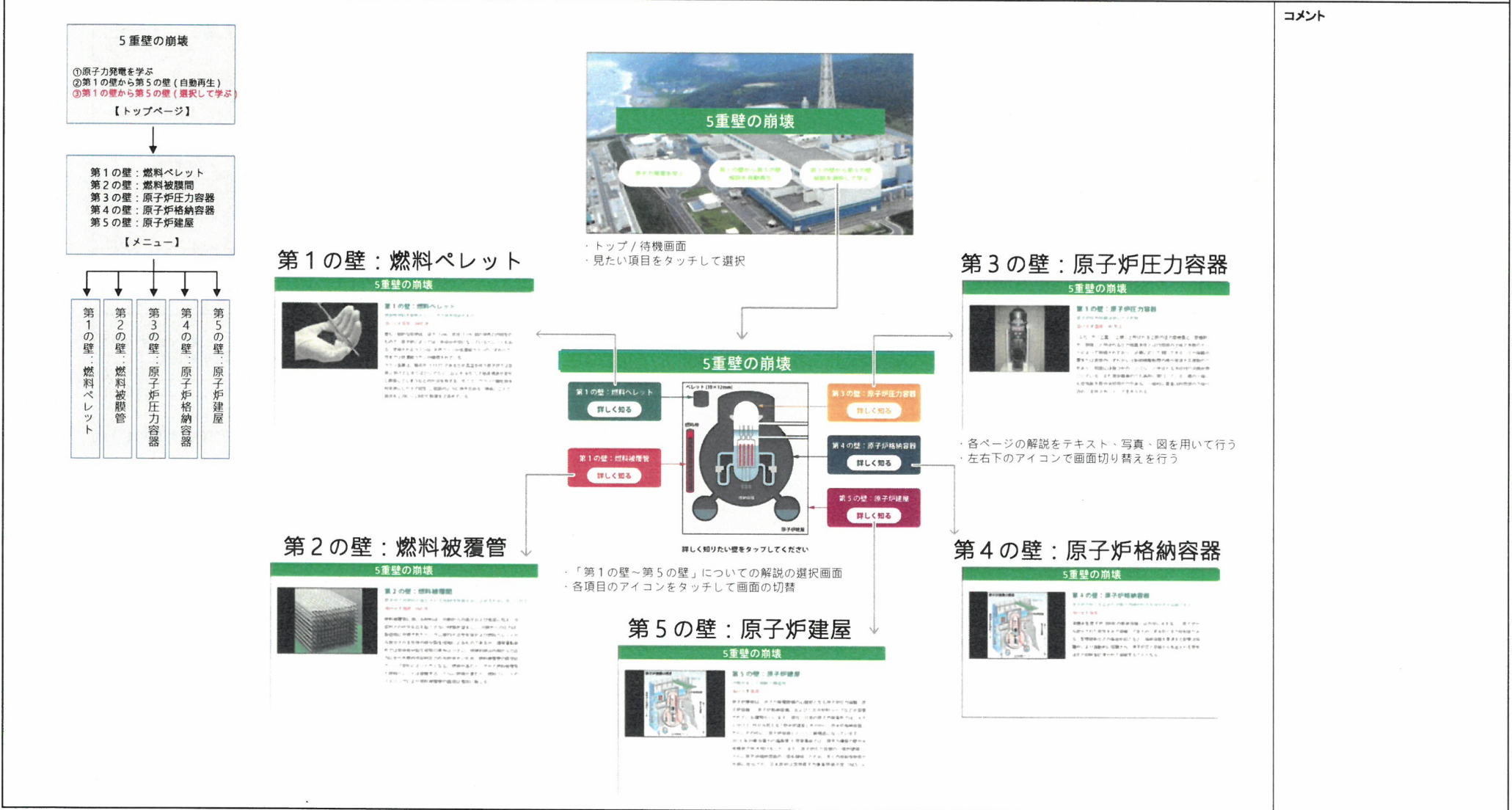
**第5の壁: 原子炉建屋**

原子炉建屋は、原子炉の燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。原子炉建屋は、原子炉の燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。原子炉建屋は、原子炉の燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。原子炉建屋は、原子炉の燃料管の両側に配置し、燃料管の両側に配置する。

|                         |                   |                     |                 |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|
| 大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目: A2-3 原発事故の発生 | アイテム: A2-3-1 5重壁の崩壊 | 工種: タッチパネルコンテンツ |
|-------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネルディスプレイ2台、パソコン2台

展示のねらい 安全に絶対はないということ、災害は起こりえるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。原発、放射線の基礎知識を選択で学び、何故安全と言われた5重壁が破られたのかをデジタルコンテンツで学習する。



| 大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～  | 小項目:A2-3 原発事故の発生             | 展示区分:実物資料    | 資料区分:原発事故を伝える資料   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
|---|------------------------------|--------------|---|--------------|--------------------|--------------------------------------|--------------|--------------|-----|---------------|-----|-------------------|-------|-----|-------|-----|-------|---------------|-------|------------------|-------|--------------------|-------|--------------|-------|------------------------------|-------|-----|-------|--|-------|--|--------------|--|--|--|--|--|--|--|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|------|--|-------|-----|-------|--|-------|--|--|--|-------|-----------------------|-------|-------|-------|---------|--------------------------------------|--|--|
| 資料区分理由:原発事故が起き、次々と起こる想定外の事態により残された資料。   |                              |              |   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| <p>A2-3 原発事故の発生</p> <p>原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。安全に絶対はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の事故との比較を行うことで、正しい情報を得ることの大切さを訴求する。</p>   |                              |              | <p>・コメント</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">参考</span></p> |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
|    |                              |              |   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| <table border="1"> <tr> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> </tr> <tr> <td>NO.</td> <td>042</td> <td>NO.</td> <td>043</td> <td>NO.</td> <td>044</td> <td>NO.</td> <td>045</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>・大野病院仮対策本部の新聞</td> <td>資料名</td> <td>・3月13日(日)福島民報社紙面</td> <td>資料名</td> <td>・3月12日(土)福島民友新聞社紙面</td> <td>資料名</td> <td>・電源復旧用電源ケーブル</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2011年3月12日付け</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>寸法W・H</td> <td>W365 × H 265</td> <td>寸法W・H</td> <td>W365 × H 520</td> <td>寸法W・H</td> <td>W365 × H 520</td> <td colspan="2">L500</td> </tr> <tr> <td>保全・収集</td> <td>双葉町</td> <td>保全・収集</td> <td></td> <td>保全・収集</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>出典・備考</td> <td>※大野病院資料、FURE収集時線量高く保留</td> <td>出典・備考</td> <td>福島民報社</td> <td>出典・備考</td> <td>福島民友新聞社</td> <td colspan="2">※複製品<br/>参考画像<br/>:6600Vケーブル 30φ×500程度</td> </tr> </table> | ゾーン                          | A2-3 原発事故の発生 | ゾーン   | A2-3 原発事故の発生 | ゾーン                | A2-3 原発事故の発生                         | ゾーン          | A2-3 原発事故の発生 | NO. | 042           | NO. | 043               | NO.   | 044 | NO.   | 045 | 資料名   | ・大野病院仮対策本部の新聞 | 資料名   | ・3月13日(日)福島民報社紙面 | 資料名   | ・3月12日(土)福島民友新聞社紙面 | 資料名   | ・電源復旧用電源ケーブル | Photo |                              | Photo |     | Photo |  | Photo |  | 2011年3月12日付け |  |  |  |  |  |  |  | 寸法W・H | W365 × H 265 | 寸法W・H | W365 × H 520 | 寸法W・H | W365 × H 520 | L500 |  | 保全・収集 | 双葉町 | 保全・収集 |  | 保全・収集 |  |  |  | 出典・備考 | ※大野病院資料、FURE収集時線量高く保留 | 出典・備考 | 福島民報社 | 出典・備考 | 福島民友新聞社 | ※複製品<br>参考画像<br>:6600Vケーブル 30φ×500程度 |  |  |
| ゾーン   | A2-3 原発事故の発生                 | ゾーン          | A2-3 原発事故の発生  | ゾーン          | A2-3 原発事故の発生       | ゾーン                                  | A2-3 原発事故の発生 |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| NO.   | 042                          | NO.          | 043   | NO.          | 044                | NO.                                  | 045          |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 資料名   | ・大野病院仮対策本部の新聞                | 資料名          | ・3月13日(日)福島民報社紙面  | 資料名          | ・3月12日(土)福島民友新聞社紙面 | 資料名                                  | ・電源復旧用電源ケーブル |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| Photo   |                              | Photo        |   | Photo        |                    | Photo                                |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 2011年3月12日付け  |                              |              |   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 寸法W・H   | W365 × H 265                 | 寸法W・H        | W365 × H 520  | 寸法W・H        | W365 × H 520       | L500                                 |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 保全・収集   | 双葉町                          | 保全・収集        |   | 保全・収集        |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 出典・備考   | ※大野病院資料、FURE収集時線量高く保留        | 出典・備考        | 福島民報社   | 出典・備考        | 福島民友新聞社            | ※複製品<br>参考画像<br>:6600Vケーブル 30φ×500程度 |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| <table border="1"> <tr> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> <th>ゾーン</th> <th>A2-3 原発事故の発生</th> </tr> <tr> <td>NO.</td> <td>046</td> <td>NO.</td> <td>047</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>・第10条通報FAX受信票</td> <td>資料名</td> <td>・ヨウ素剤配布指示書校正原稿FAX</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Photo</td> </tr> <tr> <td>寸法W・H</td> <td>W 210 × H 300</td> <td>寸法W・H</td> <td>W 210 × H 300</td> </tr> <tr> <td>保全・収集</td> <td></td> <td>保全・収集</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出典・備考</td> <td>複製品<br/>第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX</td> <td>出典・備考</td> <td>複製品</td> </tr> </table>  | ゾーン                          | A2-3 原発事故の発生 | ゾーン   | A2-3 原発事故の発生 | NO.                | 046                                  | NO.          | 047          | 資料名 | ・第10条通報FAX受信票 | 資料名 | ・ヨウ素剤配布指示書校正原稿FAX | Photo |     | Photo |     | 寸法W・H | W 210 × H 300 | 寸法W・H | W 210 × H 300    | 保全・収集 |                    | 保全・収集 |              | 出典・備考 | 複製品<br>第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX | 出典・備考 | 複製品 |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| ゾーン   | A2-3 原発事故の発生                 | ゾーン          | A2-3 原発事故の発生  |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| NO.   | 046                          | NO.          | 047   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 資料名   | ・第10条通報FAX受信票                | 資料名          | ・ヨウ素剤配布指示書校正原稿FAX   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| Photo   |                              | Photo        |   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 寸法W・H   | W 210 × H 300                | 寸法W・H        | W 210 × H 300   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 保全・収集   |                              | 保全・収集        |   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |
| 出典・備考   | 複製品<br>第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX | 出典・備考        | 複製品   |              |                    |                                      |              |              |     |               |     |                   |       |     |       |     |       |               |       |                  |       |                    |       |              |       |                              |       |     |       |  |       |  |              |  |  |  |  |  |  |  |       |              |       |              |       |              |      |  |       |     |       |  |       |  |  |  |       |                       |       |       |       |         |                                      |  |  |

|             |   |              |  |  |
|-------------|---|--------------|--|--|
| No.<br>G2-4 | 項目名<br>国・県・市町村の災害対策本部の記録  | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録  | 大項目<br>A2 災害の始まり～安全神話の崩壊   |
|             |   |              | <p>ねらい</p> <p>未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応すべきか、についての知見を得るきっかけとしても機能させる。</p> | <p>コメント</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
|             |   |              | 仕様   |  |
|             |   |              | サイズ  |  |
| 解説文(案)      | <p>展示内容</p> <p>A2-4-0 ○証言映像</p> <p>A2-4-1 ○行政の対策について(解説)</p> <p>○報道映像</p> <p>○実物資料</p> <p>・当時の行政の動きを記録した資料</p> <p>A2-4-2 ○オフサイトセンターの記録(解説)</p> <p>○実物資料</p> <p>・オフサイトセンター関連資料</p> |              |  |  |
|             |   |              |  | 備考   |

|                         |                             |                   |             |
|-------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------|
| 大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目: A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録 | アイテム: A2-4-1 報道映像 | 工種: 映像コンテンツ |
|-------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inch モニター 映像尺: 約2～3分 映像フォーマット: Hi-Vision コメント: あり 解説ナレーション: なし 音楽: なし 効果音: なし プログラム: センサースタート

展示のねらい 未だかつて誰も経験した事のない事態に、混乱を極めながら懸命に対応した人々の記録を当時の緊迫感と共に伝える。

## 県や各市町村の災害対策本部は原発事故にどのように対応したのか

事故後の混乱を極める状況の中、懸命に対応した行政とそれを支援した人々。被害を最小限度に食い止めるべく努力した県や各市町村の災害対策本部の姿をテレビカメラに収められた映像を元に構成。

### ◆構成要素

- ①震災後自治会館に移った県の災害対策本部  
原発事故による避難指示 県民に呼びかける佐藤知事
- ②二本松市に避難した浪江町の災害対策本部 安否確認や救援物資の配布等
- ②ビックパレットに避難した富岡町と川内村の合同災害対策本部
- ③埼玉県に避難した双葉町の災害対策本部
- ④計画的避難の受け入れについて話し合う飯舘村の対策本部 など

コメント

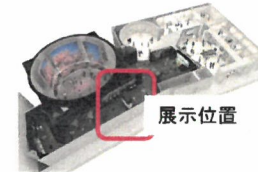
構成要素は現段階の想定のため、今後追加及び削除される場合があります。

|                        |                            |           |                          |
|------------------------|----------------------------|-----------|--------------------------|
| 大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～ | 小項目:A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録 | 展示区分:実物資料 | 資料区分:県市町村担当者が災害に対応した記録資料 |
|------------------------|----------------------------|-----------|--------------------------|

資料区分理由:自然災害、原発事故以降起きた数々の事態に、当事者がいかに対応したかを残された手書きのメモ・ボードや記録からたどる。

A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などどのように対応するべきか、についての知見を得るきっかけとしても機能させる。



・コメント

参考

| ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>048 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>049 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>050 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>051        |
|------------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|--------------------------------------|
| 資料名        | ・『国会事故調報告書』                   | 資料名        | ・相馬市災害対策本部中間報告書               | 資料名        | ・双葉町東日本大震災記録誌                 | 資料名        | ・飯館村全村避難のあゆみ                         |
| 寸法W・H      | W 210 × H 300                 | 寸法W・H      | W 210 × H 300                 | 寸法W・H      | W 210 × H 300                 |            | W 210 × H 300                        |
| 保全・収集      |                               | 保全・収集      |                               | 保全・収集      |                               |            |                                      |
| 出典・備考      | ※大野病院資料、FURE収集時線量高く保留         | 出典・備考      | 福島民報社                         | 出典・備考      | 福島民友新聞社                       |            | ※複製品<br>参考画像<br>:6600Vケーブル 30φ×500程度 |

| ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>052 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>053 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>054 | ゾーン<br>NO. | A2-4 国・県・市町村の災害対策本部の記録<br>055 |
|------------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|-------------------------------|
| 資料名        | ・相馬市対策本部WB記録                  | 資料名        | ・浪江町町長直筆メモ                    | 資料名        | ・双葉町災害対策本部記録                  | 資料名        | ・警戒段階における緊急事態応急対策             |
| 寸法W・H      | W 1800×H 900                  | 寸法W・H      | W 210 × H 300                 | 寸法W・H      | W 900 × H1200                 | 寸法W・H      | W 210 × H 300                 |
| 保全・収集      | 相馬市                           | 保全・収集      | 浪江町                           | 保全・収集      | 双葉町                           | 保全・収集      | オフサイトセンター                     |
| 出典・備考      | 複製品<br>第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX  | 出典・備考      | 複製品                           | 出典・備考      | 複製品                           | 出典・備考      | 複製品                           |



|   |                             |             |  |   |
|---|-----------------------------|-------------|--|---|
| No.<br>G3-0-1   | 項目名<br>原子力災害の影響と対応(初期)ゾーン導入 | 種類<br>ゾーン解説 | 中項目<br>A3-0 ゾーンサイン&イントロ  | 大項目<br>A3原子力災害の影響と対応(初期)  |
| <p>現タイトル:原子力災害の影響と対応(初期)<br/>↓<br/>新タイトル案:原子力発電所事故直後の対応</p> |                             |             | <p>ねらい</p> <p>着の身着のままの避難/情報の錯綜/避難生活の変遷。誰もが初めて経験する原子力災害直後の状況を、避難などの様子からその特殊性を訴求。国内外の事故事例などを参考とした県下での手探りの初期対応、国内外からの注目など、原子力災害の初動の記録と記憶を、証言などをもとに振り返り、後世への教訓の場とする。</p> | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
|   |                             |             | 仕様   |   |
|   |                             |             | サイズ  |   |
| 解説文(案)  |                             |             | <p>展示内容</p> <p>A3-0 ゾーンサイン&amp;イントロ<br/>A3-1 避難の開始<br/>A3-2 県内全域に広がる不安<br/>A3-3 国内外からの支援・反応</p>  |   |
|   |                             |             | 備考   |   |

|             |                    |              |   |   |
|-------------|--------------------|--------------|---|---|
| No.<br>G3-1 | 項目名<br>避難の開始 コーナ導入 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A3-1 避難の開始   | 大項目<br>A3原子力災害の影響と対応(初期)  |
|             |                    |              | <p>ねらい</p> <p>避難の様子や当時の証言を通し、取るものもとりあえず故郷を後に、先が見えないままに、避難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想像してもらい、共感の深化を図る。また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での受け入れや、何度も避難先を変えなければならなかった避難者のことなど、当時の現地の様子を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしていたことを想像してもらい、当時の避難生活の苦しさ、災害への日頃の備えの重要性を訴求する。</p>  | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
| 解説文(案)      |                    |              | <p>展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A3-1-0 ○証言映像</li> <li>A3-1-1 ○突然の避難と度重なる移動(解説)</li> <li style="padding-left: 20px;">○実物資料</li> <li style="padding-left: 40px;">・福島特有の「緊急避難」状況を記録した資料</li> <li>A3-1-2 ○避難所の生活(解説)</li> <li style="padding-left: 20px;">○実物資料</li> <li style="padding-left: 40px;">・避難状況を記録した資料</li> </ul> |   |
|             |                    |              | 備考  |   |



|             |   |              |   |  |
|-------------|---|--------------|---|--|
| No.<br>G3-2 | 項目名<br>県内全域に広がる不安   | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A3-2 県内全域に広がる不安  | 大項目<br>A3原子力災害の影響と対応(初期)   |
|             |   |              | <p>ねらい</p> <p>「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射能の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や科学的データに基づいた初期行動の重要性を改めて訴求する。また、放射能の影響は、福島産業、特に農水産業への大きな打撃を与えた。未だに続く風評の始まりとして、事故後廃棄されなくてはならなかった大量の農産物の写真や映像などから、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。</p> | <p>コメント</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">参考</p> |
|             |   |              | 仕様  |  |
|             |   |              | サイズ   |  |
| 解説文(案)      | <p>展示内容</p> <p>A3-2-0 ○証言映像</p> <p>A3-2-1 ○放射線への不安(解説)</p> <p style="padding-left: 20px;">○避難の推移など(原発避難の7日間)</p> <p style="padding-left: 40px;">(映像+マップ)</p> <p style="padding-left: 20px;">○実物資料</p> <p style="padding-left: 40px;">・スクリーニング等に関する資料</p> <p>A3-2-2 ○産業への影響と各団体の対応経過(解説)</p> |              |   |  |
|             |   |              | 備考  |  |

|                         |                      |                                |               |
|-------------------------|----------------------|--------------------------------|---------------|
| 大項目: A3 原子力災害の影響と対応(初期) | 小項目: A3-2 県内全域に広がる不安 | アイテム: A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間) | 工種: デジタルコンテンツ |
|-------------------------|----------------------|--------------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

## 映像構成概要

### 映像の構成とねらい

映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

## 原発避難の7日間

被災者はもちろんのこと、日本人全体に深い傷跡を残し、今なお終息に向けた不断の努力が続けられている福島第1原発事故。膨大なビッグデータや当事者の証言から明らかになってきた、3月11日の発災から18日までの7日間の軌跡を、「7日間の事故の実像」「避難を強いられた人々」「滞った物流」の3つのテーマにフォーカスして提示する展示映像を展開します。実写映像とビッグデータ（NHK協力）による解析映像をシンクロさせることで来館者に分かりやすく提示し、災害初期における行動のための課題を浮き彫りにしていきます。

### ■フォーカステーマと映像のねらい

#### 7日間の事故の実像

発災からの7日間、次々と発生する「想定外」の出来事に、国や自治体、東電は何を考慮どう行動したのか。事故当時明らかになっていなかった資料や証言をもとに、原子力災害の根幹となった福島第1原発における事故の実相を克明に解き明かすとともに、ビッグデータによって解析した放射性物質の飛散実態を重ねることで、情報も備えも失った手探りの中で選択を迫られてきた人々の行動とその意味を考えます。

#### 避難を強いられた人々

刻一刻と避難指示区域が拡大していく中、十分な情報も備えもなく避難を強いられた人々とともに、錯綜する情報の中で「屋内避難」という特殊な状況に置かれた人々にも焦点を当て、二律背反する指示によって理不尽にも生活基盤を奪われていった人々の7日間の動きを、ビッグデータの解析データとシンクロすることでその実態を克明に提示し、地震や津波の災禍にも生き残った人々が背負わされた「見えない恐怖」原子力災害の本質的な問題に迫ります。

#### 滞った物流

避難指示区域の拡大とともに広がっていく「物流空白地帯」。物流全体の流れを追った後、「屋内避難」で外出を制限され、区域外からの物資の流入も止められたことで「陸の孤島」と化した南相馬市にフォーカスし、ギリギリで命がけの選択を迫られた住民の苦悩と決断を、物流の観点から明らかにしていきます。

### ◇待機画面について

上部スクリーンのみを使用して、このコーナーのコンセプトを象徴する待機画面を背景に、3つのフォーカステーマをタッチパネルで選択することで映像が起動することを伝える文字情報をコラージュします。来場者がタッチパネルで上記3つのフォーカステーマを選択すると、上部映像のスタートと同期した下部LEDの演出もスタートします。

#### ●メッセージ案

“この映像はビッグデータを活用し、原発災害発災時からの7日間を3つの角度から検証したものです。”

タッチパネルモニターに表示された3つのメニューから見たい映像をタッチしてください。”  
といった内容の文字情報が、様々な言語でスクリーン上に流れます。

#### ●待機画面例:1

### 3.11-3.18 日本版Seismic Monitor



2011年3月11日0:00から3月18日23:59までのM4.5以上の日本を震源とする地震を可視化した「Seismic Monitor」

#### ●待機画面例:2

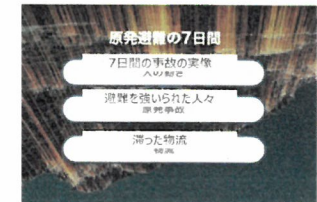
### 3.11-3.18 occurrence watch



2011年3月11日14:28から3月18日の7日間に起きた、映像で描かれる様々な出来事の発生時間を表示する「occurrence watch」



プロジェクターによる映像投影とLEDパネルによる大型の2画面構成により、多角的な情報を確認できるようにする。



コンテンツの選択はタッチパネルで行う。通常は来館者用の画面になっているが、切り替えて研修用の画面を出すことができる。

|                       |                     |           |                                     |
|-----------------------|---------------------|-----------|-------------------------------------|
| 大項目:A3原子力災害の影響と対応(初期) | 小項目:A3-2 県内全域に広がる不安 | 展示区分:実物資料 | 資料区分:「放射線」の脅威・混乱、困惑する社会と人々の生活が伝わる資料 |
|-----------------------|---------------------|-----------|-------------------------------------|

資料区分理由:原発事故による想定外の事態と見えない不安が、自然災害にはない対応への困難さと時間をかけて取り組むことの必要性が実感として伝わる資料。

A3-2 県内全域に広がる不安

「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射能の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や科学的データに基づいた初期行動の重要性を改めて訴求する。  
 また、放射能の影響は、福島県の産業、特に農水産業への大きな打撃を与えた。未だに続く風評の始まりとして、事故後放射能の影響を受け、廃棄されなくてはならなかった大量の農産物の写真や映像などから、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。



・コメント

参考

| ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                               | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                              | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                                 | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                              |
|-------|---|-------|--|-------|---|-------|--|
| NO.   | 101   | NO.   | 102  | NO.   | 103   | NO.   | 104  |
| 資料名   | ・スクリーニング済証                                    | 資料名   | 食品等スクリーニング検査結果通知                             | 資料名   | ・除染通知文書など                                       | 資料名   | ・公益一時立入車両通行許可証                               |
| Photo |   | Photo |  | Photo |   | Photo |  |
| 寸法W・H | W 146 × H 210                                 | 寸法    | W 210 × H 300                                | 寸法    | W 250 × H 370                                   | 寸法    | W 210 × H 300                                |
| 保全・収集 | ○○○   | 保全・収集 | ○○○○   | 保全・収集 | ○○○○  | 保全・収集 | ○○○  |
| 出典・備考 | ○○○○○○○○○スクリーニング済証 (名消し用ケース付) ※裏面に「○○」においてとある | 出典・備考 | ○○○○○○○○○○食品等放射能簡易分析結果通知書 A4                 | 出典・備考 | ○○○○○○○○○○○の生活圏除染作業の実施について (お願い) A4 ※レターパック封筒付き |       | ○○○○○○○○○公益一時立入車両通行許可証(3枚) 公益一時立入車両通行許可証(3枚) |
| ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                               | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                              | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                                 | ゾーン   | A3-2 県内全域に広がる不安                              |
| NO.   | 105   | NO.   | 106  | NO.   | 107   | NO.   | 108  |
| 資料名   | ・○○○通行証                                       | 資料名   | 広域環境モニタリングのための…調査報告                          | 資料名   | ・線量計と調製用ウラン鉱石                                   | 資料名   | ・マスク   |
| Photo |   | Photo | <br>※裏面に「○○において」とある                          |       |   |       |  |
| 寸法W・H | W 210 × H 300                                 | 寸法    | W 210 × H 300                                | 寸法    | W 150 × H 150厚100                               | 寸法    | W 250 × H 250厚250                            |
| 保全・収集 | ○○○   | 保全・収集 | ○○○  | 保全・収集 | FURE  | 保全・収集 | FURE   |
| 出典・備考 | ○○○○○○○○○公益一時立入車両通行許可証 長方形 A4                 | 出典・備考 | ○○○○○○○○○広域環境モニタリングのための航空機を用いた放射性物質拡散状況調査報告書 | 出典・備考 |   | 出典・備考 |  |

|             |                  |              |  |                                       |
|-------------|------------------|--------------|--|---------------------------------------|
| No.<br>G3-3 | 項目名<br>国内外の反応と支援 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A3-3国内外の反応と支援   | 大項目<br>A3原子力災害の影響と対応(初期)              |
|             |                  |              | <p>ねらい</p> <p>これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故で起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝える。</p>                         | <p>コメント</p> <p><a href="#">参考</a></p> |
| 解説文(案)      |                  |              | <p>展示内容</p> <p>A3-3-0 ○証言映像</p> <p>A3-3-1 ○世界が捉えた原発事故(解説)</p> <p>○海外の報道・支援など関連映像</p> <p>○実物展示</p> <p>・海外がどう伝えたか示す資料</p> <p>A3-3-2 ○実物展示</p> <p>・支援を寄せた人の思いがわかる資料、支援物資</p> <p>○東日本大震災をきっかけとしたクラウドファンディング(解説)</p> <p>○ツイッターを用いた新たな支援(解説)</p> |                                       |
|             |                  |              | 備考   |                                       |

|                          |                     |                             |             |
|--------------------------|---------------------|-----------------------------|-------------|
| 大項目: A3 原子力災害の影響と対応 (初期) | 小項目: A3-3 国内外の反応と支援 | アイテム: A3-3-1 海外の報道・支援など関連映像 | 工種: 映像コンテンツ |
|--------------------------|---------------------|-----------------------------|-------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器32inchモニター 映像尺:約2〜3分 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:なし 音楽:なし 効果音:なし プログラム:センサースタート

展示のねらい これまで経験したことのない原発事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。

展示のねらい

※海外報道素材を調査の上、使用の可否、手続きを調査の上、詳細の検討をする

### 世界は原発事故をどのように報道し、どのように日本を支援したのか。

原発事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、  
事故が起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。

Photo

世界からも原発事故は大きな注目を受けました。水素爆発の映像も報道され、事故後に現地に立ち入りリポートする海外メディアもあった。  
参考報道各社 CNN BBC ZDF CCTV 等

Photo

甚大な被害を受けた日本に対し、海外からは資金援助や物資の提供の申し出があった。海外からの温かい支援を実際に報道された映像などで紹介。  
各国支援金 米軍 トモダチ作戦 医療援助 等

コメント

映像内容は現段階の想定、  
画像はイメージです。  
シナリオの流れについて御  
確認ください。

大項目:A3原子力災害の影響と対応(初期)

小項目:A3-3 国内外の反応と支援

展示区分:実物資料

資料区分:国内外からの支援にまつわる資料

資料区分理由:自然災害、原発事故に対する、国内外からの支援の実態を通じ、支援は他者の為だけでなく、いつ災害が自己の事となるかもしれないと、想起させる資料。

A3-3 国内外の反応と支援

これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故で起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝える。



・コメント

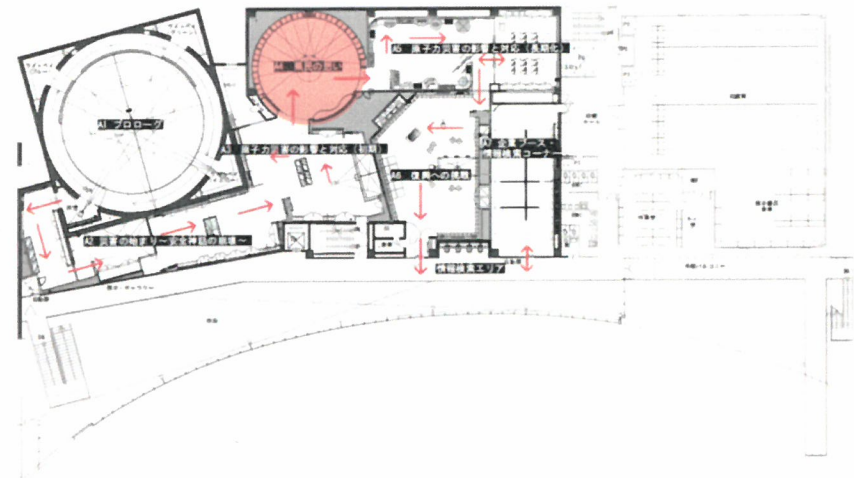
参考

| ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>118 | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>119 | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>120 | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>121 |
|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|
| 資料名        | ・民間からの支援物資            | 資料名        | ・民間からの支援物資            | 資料名        | ・民間からの支援物資            | 資料名        | ・玉寺町災害用備蓄毛布           |
|            | Photo                 |            | Photo Photo           |            | Photo                 |            |                       |
| 寸法W・H      | ※700×700 (範囲)         | 寸法         | ※600×400 (範囲)         | 寸法         | ※600×400 (範囲)         | 寸法         | W 400×D300 H 300      |
| 保全・収集      | FURE                  | 保全・収集      | FURE                  | 保全・収集      | FURE                  | 保全・収集      | FURE                  |
| 出典・備考      | 生活用品・日用品              | 出典・備考      | デジタル機器                | 出典・備考      | トイレトペーパー              |            |                       |

| ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>122              | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>123 | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>124 | ゾーン<br>NO. | A3-3 国内外の反応と支援<br>125 |
|------------|------------------------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|------------|-----------------------|
| 資料名        | 非営利団体「アクト・オブ・グッド」                  | 資料名        | ・応援物資についていたラベル        | 資料名        | ・インディペンデント・オン・サンデー    | 資料名        | ・寄せ書                  |
|            | Photo                              |            | Photo Photo           |            | Photo                 |            |                       |
| 寸法W・H      | W 300×H 400                        | 寸法         | W 360×D260H 180       | 寸法         | W 300×H 400           | 寸法         |                       |
| 保全・収集      | ○○○                                | 保全・収集      | FURE                  | 保全・収集      |                       | 保全・収集      | ○○○・○○○○              |
| 出典・備考      | ※未開封五目ごはん、50食分、5年保証<br>※FURE+○○○○○ | 出典・備考      |                       | 出典・備考      | ※英国新聞                 | 出典・備考      | FURE+○○○○○            |

## A 4. 県民の想い

---



|               |                   |             |  |  |
|---------------|-------------------|-------------|--|--|
| No.<br>G4-0-1 | 項目名<br>県民の想いゾーン導入 | 種類<br>ゾーン解説 | 中項目<br>A4-0 ゾーンサイン&イントロ  | 大項目<br>A4県民の想い   |
|               |                   |             | <p>ねらい</p> <p>安全神話の中にあった、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に後世に残す。</p>                      | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
| 解説文(案)        |                   |             | <p>仕様</p> <p>サイズ</p> <p>展示内容</p> <p>A4-0 ゾーンサイン&amp;イントロ</p> <p>※以下証言映像及び実物展示のみ</p> <p>A4-1 災害時に感じた不安・恐れ</p> <p>A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ</p> <p>A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ</p> <p>A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安</p> <p>A4-5 全体演出</p> |  |
|               |                   |             | 備考   |  |

|               |                |            |                             |
|---------------|----------------|------------|-----------------------------|
| 大項目: A4 県民の想い | 小項目: A4-5 全体演出 | アイテム: 全体演出 | 工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影) |
|---------------|----------------|------------|-----------------------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター5台投影 映像尺: 約4~5分 ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 定時上映

展示のねらい 原発事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしてマルチ映像で表現。

《演出の考え方》

## 震災の関連展示物と映像の複合演出で 県民の想いをメッセージ

《通常時》

- ・震災関連の資料展示として活用

《映像演出時》

- ・映像の一部が透けて展示物が見える演出やプロジェクションマッピングの手法を用いて、来館者のイメージを増幅
- ・パノラマスクリーンとして来館者の没入感を演出

コメント

映像内容は現段階の想定、  
画像はイメージです。  
シナリオの流れについて御  
確認ください。

### ■ 通常時

震災関連資料展示



### ■ 映像演出時

映像と展示物の複合演出

Photo

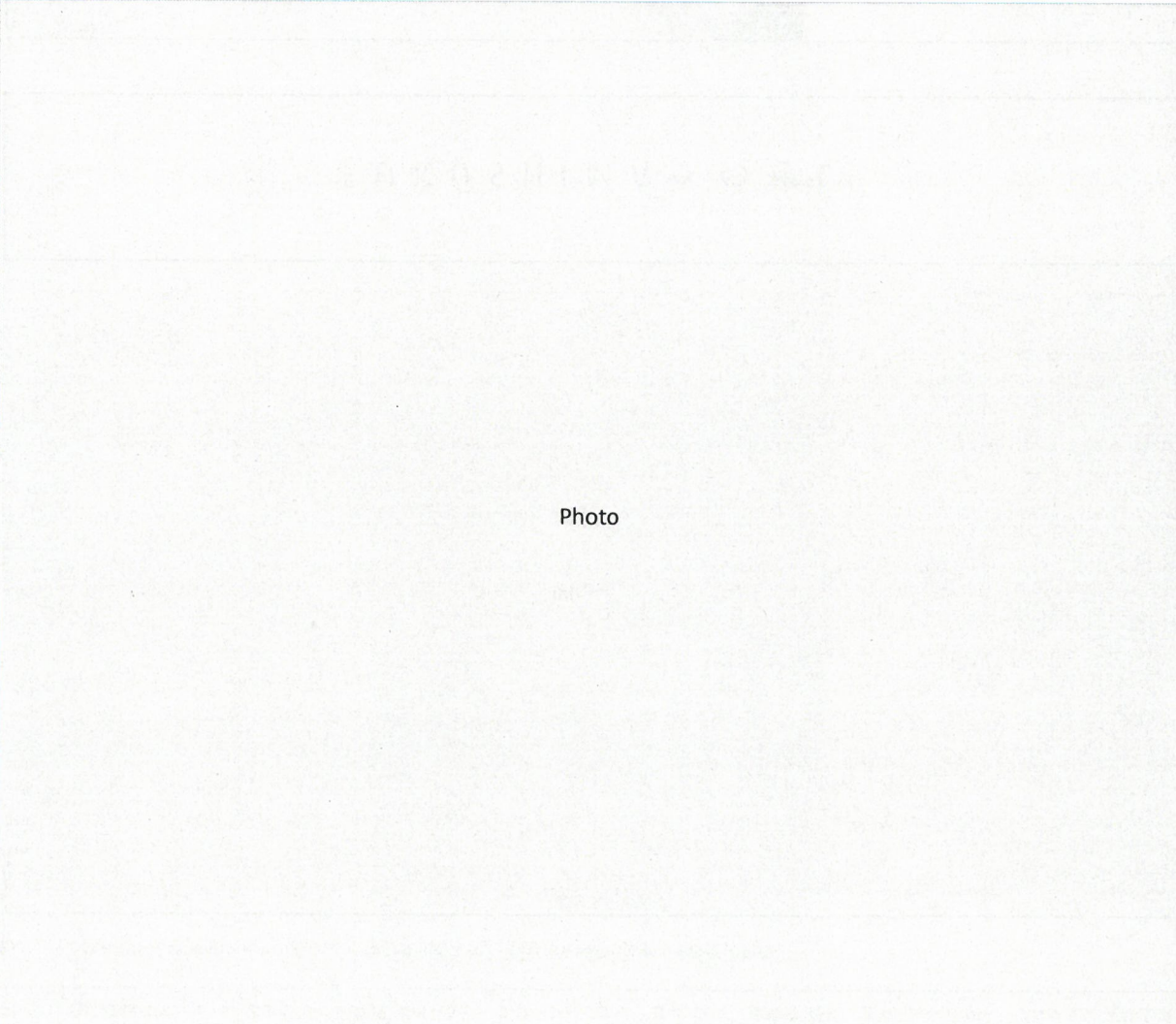
パノラマスクリーン演出

Photo

|               |              |            |                             |
|---------------|--------------|------------|-----------------------------|
| 大項目: A4 県民の想い | 小項目: A4-5 全体 | アイテム: 全体演出 | 工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影) |
|---------------|--------------|------------|-----------------------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター5台投影 映像尺: 約4~5分 ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 定時上映

展示のねらい 原発事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしてマルチ映像で表現。

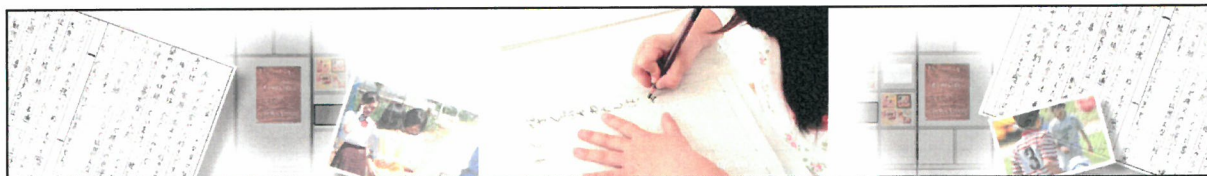
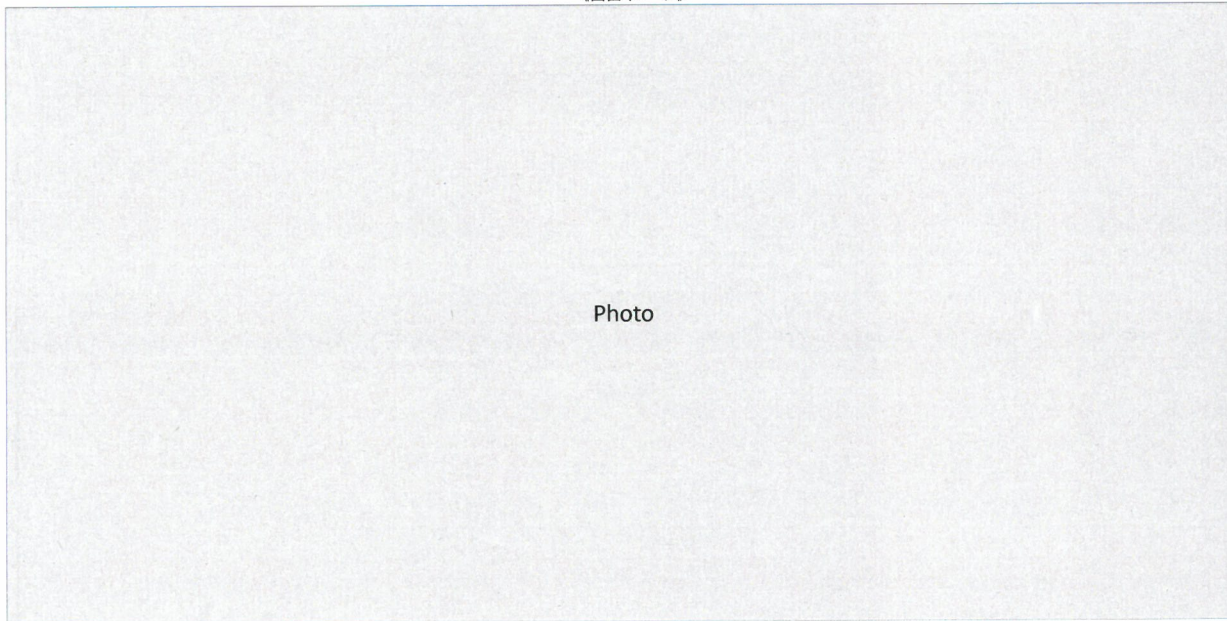
|  |  |             |
|--|--|-------------|
| <p style="text-align: center;">《画面イメージ》</p>  <p style="text-align: center;">Photo</p> | <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">ブロック ①</p> <p><b>《ブロックの主な流れ》</b></p> <h2 style="margin: 0;">こころのふるさと<br/>福島</h2> <p>豊かな自然や様々な文化、暮らし、そして笑顔溢れる県民の姿など、福島の平穏な日常を描きながら震災前の様子を振り返る。</p> <p><b>《主な構成要素》</b></p> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑豊かな自然</li> <li>・広大に広がる海</li> <li>・にぎわいを見せるお祭り</li> <li>・県民の笑顔</li> <li>・学校生活</li> <li>・家族との思い出 など</li> </ul> </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">ブロック ②</p> <p><b>《ブロックの主な流れ》</b></p> <h2 style="margin: 0;">震災発生による<br/>影響</h2> <p>有識者へのインタビューを主軸に展開しながら、関連資料や映像をインサート。県民の想いを交えながら震災当時の様子をしっかりと伝える。</p> <p><b>《主な構成要素》</b></p> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者の声</li> <li>・新聞記事やニュース映像</li> <li>・県民の声 など</li> </ul> </div> | <p>コメント</p> |
|--|--|-------------|

|               |              |            |                             |
|---------------|--------------|------------|-----------------------------|
| 大項目: A4 県民の想い | 小項目: A4-5 全体 | アイテム: 全体演出 | 工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影) |
|---------------|--------------|------------|-----------------------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター5台投影 映像尺: 約4~5分 ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 定時上映

展示のねらい 原発事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしてマルチ映像で表現。

《画面イメージ》



コメント

ブロック ③

《ブロックの主な流れ》

## 住民の不安と恐怖

震災によって一変した日常生活。仮設住宅での生活や長期避難など被災直後から現在につづく不安など、被災者の声を主軸に関連資料と共に展開。展示資料との複合演出も検討。

《主な構成要素》

- ・被災者の声
- ・関連したインサート資料や映像

ブロック ④

《ブロックの主な流れ》

## 福島への想い

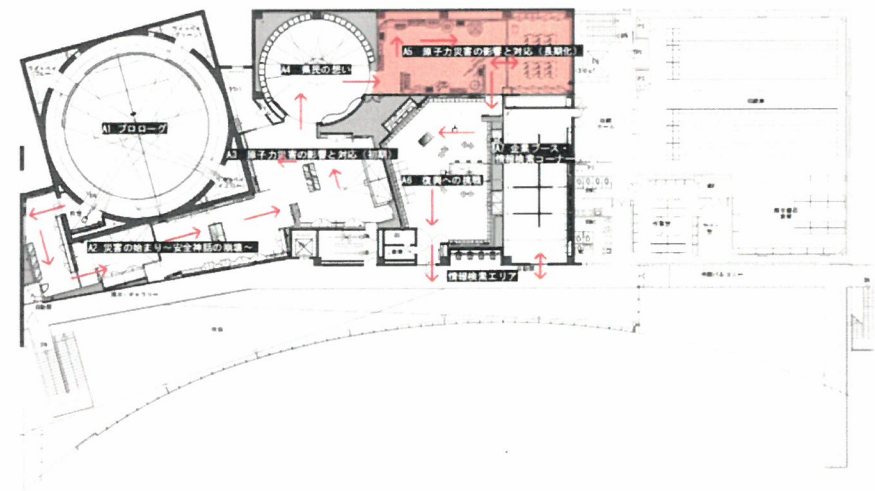
「家に帰りたい」「やっぱり福島が好き」など、住民の声を主軸に展開し、地元への想いを綴っていく。さらに、関連資料や展示資料を活用し、来館者のイメージを増幅していく。

《主な構成要素》

- ・住民の声
- ・関連したインサート資料や映像
- ・関連した展示物



## A 5. 原子力災害の影響と対応（長期化）

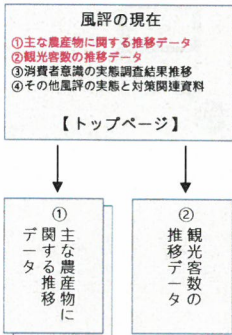


| No.<br>G5-0-1   | 項目名<br>原子力災害の影響と対応(長期化)導入 | 種類<br>ゾーン解説 | 中項目<br>A5-0 ゾーンサイン&イントロ  | 大項目<br>A5 原子力災害の影響と対応(長期化)   |
|---|---------------------------|-------------|--|--|
| <p>現タイトル:原子力災害の影響と対応(長期化)<br/>↓<br/>新タイトル案:長期化する原子力災害への対応</p> |                           |             | <p>ねらい</p> <p>原子力災害が長期化する中で、ふくしま(特に避難市町村)がどのように対応してきたか、原子力災害の「影響」とその「対応」、そして「教訓」を資料や体験を通して学ぶことで、原子力防災につなげる。放射線測定機器や防護服など、場面場面で登場した機器を原子力防災に関する教育や企業等の研修に活用し、気づき・学びを提供する場とし、県民健康調査等の状況を伝える。</p> | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
| <p>解説文(案)</p>   |                           |             | <p>仕様</p>  |  |
|   |                           |             | <p>サイズ</p>   |  |
|   |                           |             | <p>展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A5-0 ゾーンサイン&amp;イントロ</li> <li>A5-1 風評の払拭</li> <li>A5-2 除染の取り組み</li> <li>A5-3 長期避難に対する取り組み</li> <li>A5-4 健康不安に対する取り組み</li> </ul>             |  |
|   |                           |             | <p>備考</p>  |  |

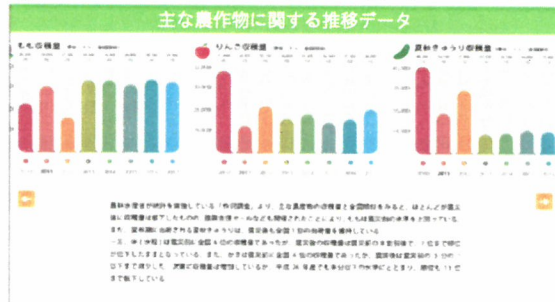
|             |              |              |  |  |
|-------------|--------------|--------------|--|--|
| No.<br>G5-1 | 項目名<br>風評の払拭 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A5-1 風評の払拭  | 大項目<br>A5 原子力災害の影響と対応(長期化)   |
|             |              |              | <p>ねらい</p> <p>震災後、県内で実施されてきた風評払拭に向けた取り組みを紹介し、安全性等について理解してもらうことにより、福島県に対するマイナスのイメージを払拭してもらうきっかけとする。</p> | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
|             |              |              | <p>仕様</p>  |  |
|             |              |              | <p>サイズ</p>   |  |
|             |              |              | <p>解説文(案)</p>  |  |
|             |              |              | <p>備考</p>  |  |

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は? 原因はどこにあるのか? どうすれば払拭できるのか? 解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。農作物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。



### ① 主な農作物に関する推移データ

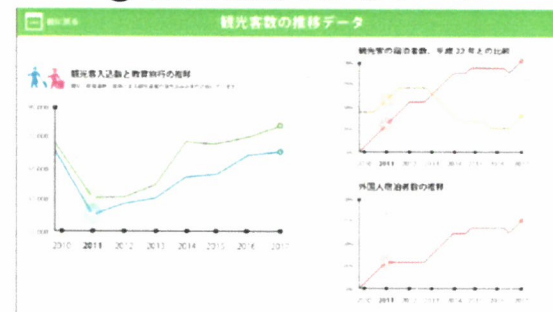


- ・ 福島県内の主要な農産物に関する推移データをグラフで表示
- ・ グラフの解説文も合わせて表示
- ・ 左右のアイコンで表示画面を切り替え



管理画面から表示するテキスト、グラフなど編集可能

### ② 観光客数の推移データ



管理画面から表示グラフを編集可能

コメント

映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                          |                 |             |               |
|--------------------------|-----------------|-------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-1 風評の払拭 | アイテム: 風評の現在 | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-----------------|-------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は？原因はどこにあるのか？どうすれば払拭できるのか？解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。  
農作物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。

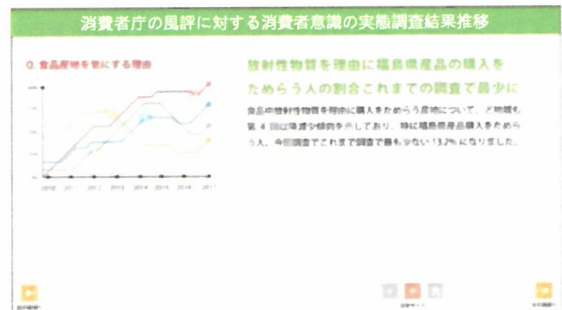
- 風評の現在
- ① 主な農産物に関する推移データ
  - ② 観光客数の推移データ
  - ③ 消費者意識の実態調査結果推移
  - ④ その他風評の実態と対策関連資料
- 【トップページ】

③ 対する消費者庁の風評に  
実態調査結果推移の

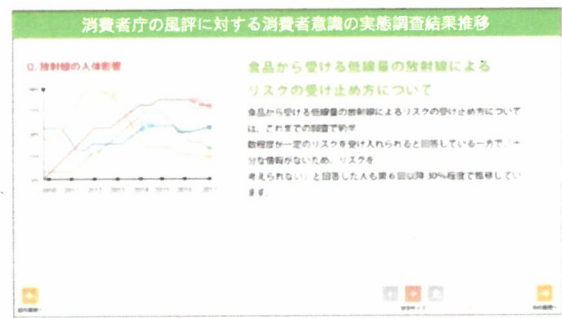


- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

### ③ 消費者庁の風評に対する消費者意識の実態調査結果推移



- ・風評に関する調査結果をグラフで表示
- ・グラフの解説文も合わせて表示
- ・左右下のアイコンから画面を切り替え



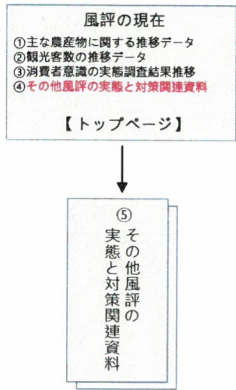
管理画面から表示するテキスト、グラフの編集可能

コメント

|                          |                 |             |               |
|--------------------------|-----------------|-------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-1 風評の払拭 | アイテム: 風評の現在 | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-----------------|-------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は？原因はどこにあるのか？どうすれば払拭できるのか？解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。  
農作物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。



- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

#### ④ その他風評の実態と対策関連資料



- ・その他の風評に関する資料を表示
- ・情報量が多いページは上下に画面スクロール可能
- ・下の番号タブを選択して表示の切り替え可能



管理画面から表示する写真、テキストの編集可能

コメント

|             |                |              |  |                                       |
|-------------|----------------|--------------|--|---------------------------------------|
| No.<br>G5-2 | 項目名<br>除染の取り組み | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A5-2 除染の取り組み  | 大項目<br>A5 原子力災害の影響と対応(長期化)            |
|             |                |              | <p>ねらい</p> <p>事故直後から、放射性物質がどのように除染されてきたのか、子どもを始めとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。</p>   | <p>コメント</p> <p><a href="#">参考</a></p> |
| 解説文(案)      |                |              | <p>展示内容</p> <p>A5-2 ○研究者インタビュー<br/>○除染の現在(デジタルコンテンツ)<br/>○実物展示<br/>・除染の実態と対策を表す資料<br/>○除染のやり方(インタラクティブ)<br/>○数値データ<br/>1:空間線量率の推移<br/>2:中間貯蔵施設に保管されているフレコンバッグの量<br/>3:子供の遊び場に関する保護者の意識変化</p> |                                       |
|             |                |              | 備考   |                                       |

|                         |                  |            |              |
|-------------------------|------------------|------------|--------------|
| 大項目：A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目：A5-2 除染の取り組み | アイテム：除染の現在 | 工種：デジタルコンテンツ |
|-------------------------|------------------|------------|--------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 事故直後から、放射線に汚染された地域がどのように除染されてきたのか、子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

**除染の現在**

- ①除染とは？
- ②避難区域等の推移及び除染区域マップ
- ③除染の進捗と事後モニタリングの結果
- ④仮置場、中間貯蔵施設への搬出状況
- ⑤最新の情報など

【トップページ】

- ① 除染とは？
- ② 避難区域等の推移及び除染区域マップ
- ③ 福島県内の除染の進捗と事後モニタリングの結果

### ① 除染とは？

放射線とは？

放射線やモニタリングの説明を見ることができる

### ② 避難区域等の推移及び除染区域マップ

### ③ 福島県内の除染の進捗と事後モニタリングの結果



除染の現在

- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択



管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能



管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能



管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能

コメント

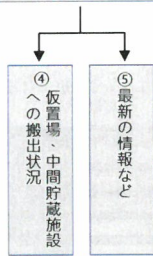
映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                          |                   |             |               |
|--------------------------|-------------------|-------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-2 除染の取り組み | アイテム: 除染の現在 | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-------------------|-------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 事故直後から、放射線に汚染された地域がどのように除染されてきたのか、子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

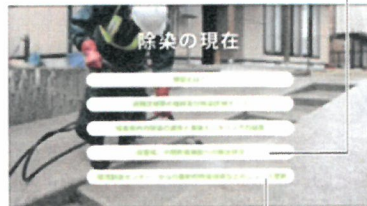
**除染の現在**  
 ①除染とは?  
 ②避難区域等の推移及び除染区域マップ  
 ③除染の進捗と事後モニタリングの結果  
 ④仮置場、中間貯蔵施設への搬出状況  
 ⑤最新の情報など  
 【トップページ】



### ④仮置場、中間貯蔵施設への搬出状況



- ・仮置場での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況について解説
- ・左右下のアイコンで画面の切り替えが可能
- ・情報量が多いページは上下に画面スクロール可能



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

### ⑤「環境創造センター」からの最新の情報など



- ・左右下のアイコンで画面の切り替えが可能



コメント

シナリオの流れについて御確認ください。

大項目：A5 原子力災害の影響と対応(長期化)

小項目：A5-2 除染の取り組み

アイテム：除染のやり方(インタラクティブ)

工種：デジタルコンテンツ

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。  
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。



タッチパネルに家屋等のイラストが表示され、除染ポイントが点滅します。ポイントをタッチすると、モニターに除染道具の情報が表示され、解説映像が流れます。解説映像はモニターをタッチすることで、早送りや繰り返し再生を行うことができます。

### タッチする位置 (想定)

屋根 / 雨樋 / 壁 / 軒下 / 庭 / 植栽 / 駐車場 / 側溝

## 屋根



- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型 (センサー) の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型 (センサー) の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

映像内容は現段階の想定、  
画像はイメージです。  
シナリオの流れについて御  
確認ください。

|                          |                   |                        |               |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-2 除染の取り組み | アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ) | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|


【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか? その除去方法は? 放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。  
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。


## 雨樋

雨樋の除染で使う道具


プラスチックヘラ




スポンジ



高圧洗浄機



雨樋の除染



雨樋はヘラなどで堆積物を除き水をかけながらスポンジでこすり(均等に接触する)洗い流す

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

## 壁

壁の除染で使う道具

ブラシ



高圧洗浄機



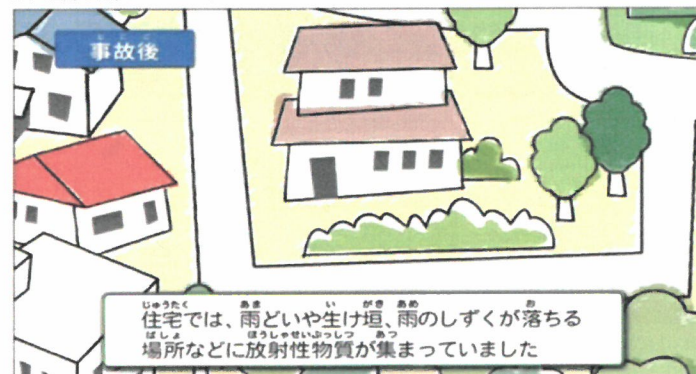
壁の除染



壁はブラシを使って水洗いする。高圧水は多量のホコリが付着している場合に効果がある。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

|                          |                   |                        |               |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-2 除染の取り組み | アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ) | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。  
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のための帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

## 軒下

軒下の除染で使う道具

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|  剣スコップ |  草刈鎌 |  藪・塵取り |  土嚢袋 |
|---|---|---|---|

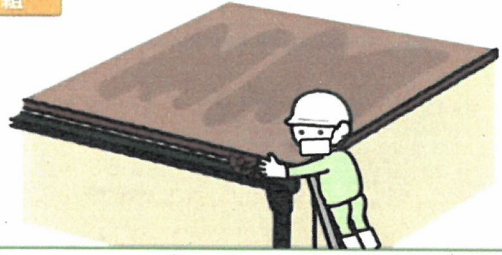
軒下の除染

- 1 雑草を除去する。
- 2 スコップなどを使用して、軒下や雨樋下の表土を削り取る。
- 3 雨樋や軒下で雨水が集中して溜まる場所や、地盤面が砂利などの透水性がある場合は少し深めに削り取る。
- 4 雑草の根や芝に付着している土は土砂に、草部分は可燃ごみへと分別する。
- 5 削り取った汚染土の埋当場所は、その場で更にその下の土を削って入れ替える。いच्छける天候が少ない場所を選定する。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです

取組





それぞれの場所に応じた適切な方法で除染が完了しました

- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

## 庭

庭の除染で使う道具

|   |   |   |
|---|---|---|
|  角スコップ |  鍬 |  土嚢袋 |
|---|---|---|

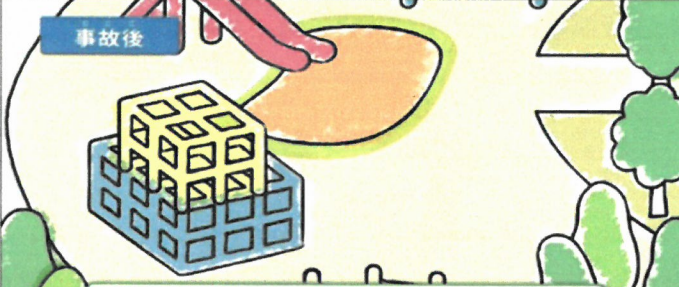
庭の除染

庭の除染は、表面部の削ぎ取り、除去が中心となります。  
植木剪定にあたっては造園業者等の専門家による判断が必要になります。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです

事故後



子どもたちが公園にも遊びが

- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

|                          |                   |                        |               |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-2 除染の取り組み | アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ) | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか? その除去方法は? 放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。  
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

## 植栽

植栽の除染で使う道具

チェーンソー

高枝ノコギリ

ハンゴ

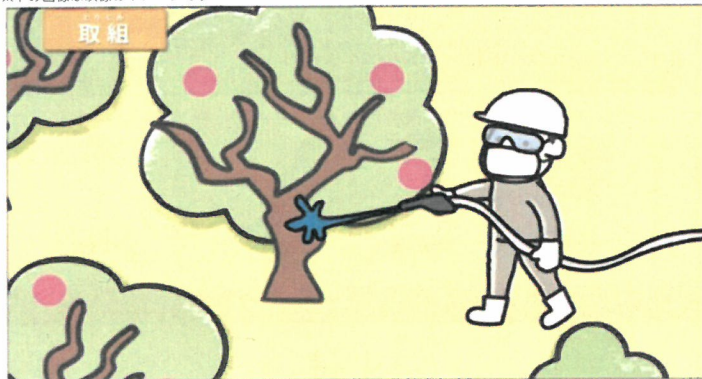
高所作業車

植栽の除染

チェーンソー・高枝ノコギリ等を用い人力で樹木の下半分の高さまでの枝を切り落とし集積します。  
高所の枝については、梯子・高所作業車を使用します。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

## 駐車場

駐車場の除染で使う道具

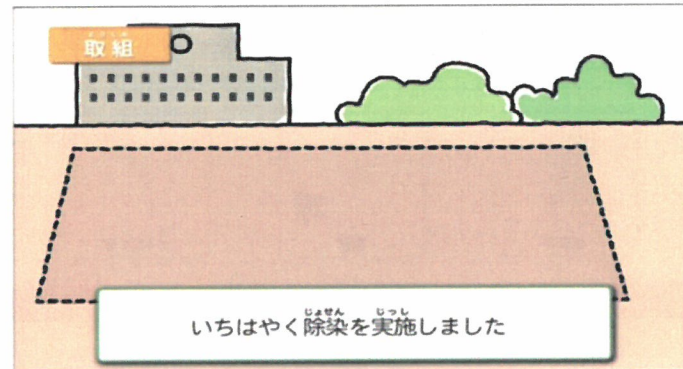
バキュームプラスト

高圧洗浄機

駐車場の除染

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

|                          |                   |                        |               |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-2 除染の取り組み | アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ) | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-------------------|------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。  
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

## 側溝

側溝の除染で使う道具

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
|  <p>角スコップ</p> |  <p>デッキブラシ</p> |  <p>ハンドタワシ</p> |  <p>高圧洗浄機</p> |
|--|---|---|--|

側溝の除染



側溝の枯葉、苔、草、泥、土等を、スコップ等を用いて手作業により除去します。  
ゴミ等を除去した後、水を用いて、デッキブラシやタワシ等で洗浄、高圧洗浄機による放水洗浄を行います。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

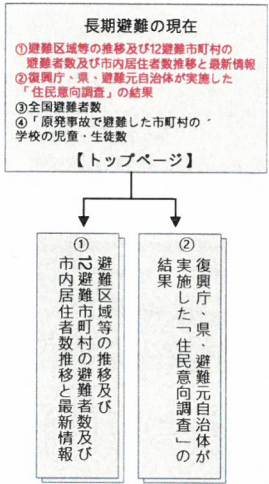
コメント

|             |                     |              |   |  |
|-------------|---------------------|--------------|---|--|
| No.<br>G5-3 | 項目名<br>長期避難に対する取り組み | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A5-3 長期避難に対する取り組み  | 大項目<br>A5 原子力災害の影響と対応(長期化)   |
|             |                     |              | <p>ねらい</p> <p>長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な分解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何ができるかを考えることにつなげる。また、この問題解決には物質的なケアだけでなく、心身のケアも合わせて両面から取り組まなくてはならないことを訴え、特に次世代を担う子供達、若者への継続的な支援の必要性を理解してもらう。</p> <p>避難所から仮設住宅、そして帰還に向けて整備の進む復興公営住宅へと様々に移り変わった、避難者の住居の変遷を模型で辿り、改めて長期避難者の苦勞を知る。</p> | <p>コメント</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
| 解説文(案)      |                     |              | <p>仕様</p> <p>サイズ</p>  |  |
|             |                     |              | <p>展示内容</p> <p>A5-3 ○研究者インタビュー<br/>○長期避難の現在(デジタルコンテンツ)<br/>○実物資料<br/>・長期避難の実態を表す資料<br/>○数値データ<br/>1: 県内人口の推移<br/>2: 全国の避難者数<br/>3: 避難住宅に住む人(あるいは住宅件数)の数の推移</p>  |  |
|             |                     |              | 備考  |  |

|                          |                        |               |               |
|--------------------------|------------------------|---------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-3 長期避難に対する取り組み | アイテム: 長期避難の現在 | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|------------------------|---------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何が出来るかを考えることにつなげる。復興庁、県、避難自治体のデータ、取り組みを最新の情報として任意に調べることができる。



### ① 避難区域等の推移及び12避難市町村の避難者数及び市内居住者数推移と最新情報



- ・福島県内の各市町村の登録人口、避難状況、などの状況を観覧可能
- ・上部タブから市町村を選択
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



コメント  
映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

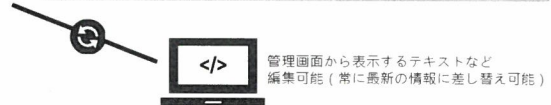


- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

### ②復興庁、県、避難元自治体を実施した「住民意向調査」の結果



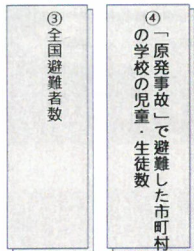
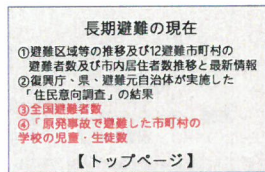
- ・福島県内の各市町村の「住民意向調査」の結果をグラフで紹介
- ・上部タブから市町村を選択
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



|                          |                       |               |               |
|--------------------------|-----------------------|---------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-3長期避難に対する取り組み | アイテム: 長期避難の現在 | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|-----------------------|---------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何ができるかを考えることにつなげる。復興庁、県、避難自治体のデータ、取り組みを最新の情報として任意に調べることができる。



### ③ 全国避難者数



- ・全国避難者数の数値を一覧で紹介
- ・上部タブから市町村を選択、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



管理画面から表示するテキストなどを編集可能(常に最新の情報に差し替え可能)



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

### ④ 原発事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数



- ・「原発事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数」の結果をグラフで表示
- ・情報量が多い場合は画面の縦スクロールで閲覧可能



管理画面から表示するグラフの情報を編集可能(常に最新の情報に差し替え可能)

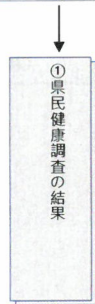
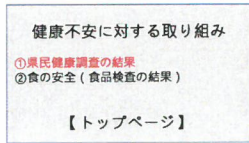
コメント

| No.<br>G5-4   | 項目名<br>健康不安に対する取り組み | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A5-4 健康不安に対する取り組み  | 大項目<br>A5 原子力災害の影響と対応(長期化)   |
|---------------|---------------------|--------------|---|--|
|               |                     |              | <p>ねらい</p> <p>放射線の健康への影響は現時点で確認されていないが、前例がない状況の中で、住民の不安を減らすためにされている様々な対策について紹介する。また、事故以来実施されている県民健康調査について解説し、共有していくことで、放射線の健康への影響を客観的に捉え、後世へ伝えていくべき知見としていく。</p>   | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
|               |                     |              | <p>仕様</p>   |  |
|               |                     |              | <p>サイズ</p>  |  |
| <p>解説文(案)</p> |                     |              | <p>展示内容</p> <p>A5-4 ○研究者インタビュー<br/> ○健康不安の現在(デジタルコンテンツ)<br/> ○数値データ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 甲状腺検査受診者の推移</li> <li>2: 子供の情緒と行動調査結果推移</li> <li>3: 子供の室内遊び場の数</li> <li>4: 福島県の肥満の子供の割合</li> </ol> |  |
|               |                     |              | <p>備考</p>   |  |

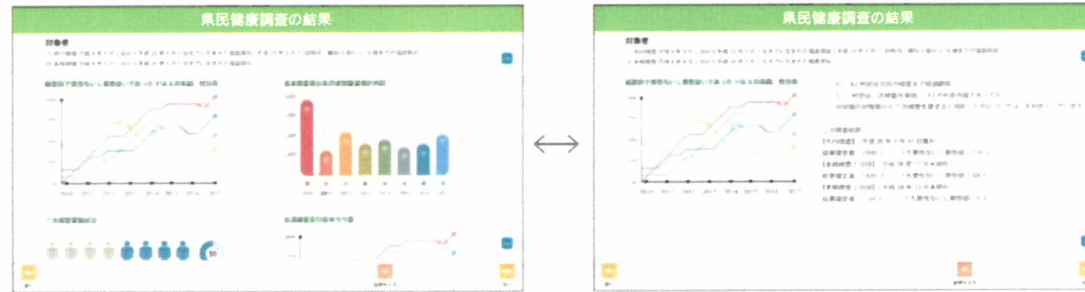
|                          |                        |                    |               |
|--------------------------|------------------------|--------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-4 健康不安に対する取り組み | アイテム: 健康不安に対する取り組み | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|------------------------|--------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

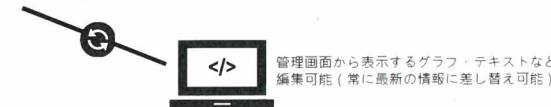
放射線の健康への影響は現時点で確認されていないが、前例がない状況の中で、住民の不安を減らすためにされている様々な対策について紹介する。また、事故以来実施されている県民健康調査について解説し、共有していくことで、放射線の健康への影響を客観的に捉え、後世へ伝えていくべき知見としていく。



### ①県民健康調査の結果



- ・「県民健康調査」の結果をグラフで紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



原発事故以来実施されている県民健康調査の結果を継続的に公開できるように、更新できるシステムを構築していく。



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

コメント

映像内容は现阶段の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                          |                        |                    |               |
|--------------------------|------------------------|--------------------|---------------|
| 大項目: A5 原子力災害の影響と対応(長期化) | 小項目: A5-4 健康不安に対する取り組み | アイテム: 健康不安に対する取り組み | 工種: デジタルコンテンツ |
|--------------------------|------------------------|--------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

放射線の健康への影響は現時点で確認されていないが、前例がない状況の中で、住民の不安を減らすためにされている様々な対策について紹介する。また、事故以来実施されている県民健康調査について解説し、共有していくことで、放射線の健康への影響を客観的に捉え、後世へ伝えていくべき知見としていく。

健康不安に対する取り組み  
 ①県民健康管理調査の結果  
 ②食の安全 (食品検査の結果)  
 【トップページ】

② (食の安全 (食品検査の結果))



・ トップ / 待機画面  
 ・ 見たい項目をタッチして選択

### ②食の安全 (食品検査の結果)

食の安全 (食品検査の結果)

2024年12月1日(日)現在

| 品名  | 検査項目 | 検査結果 | 検査日 | 検査場所 | 検査機関 | 検査結果 |
|-----|------|------|-----|------|------|------|
| ... | ...  | ...  | ... | ...  | ...  | ...  |



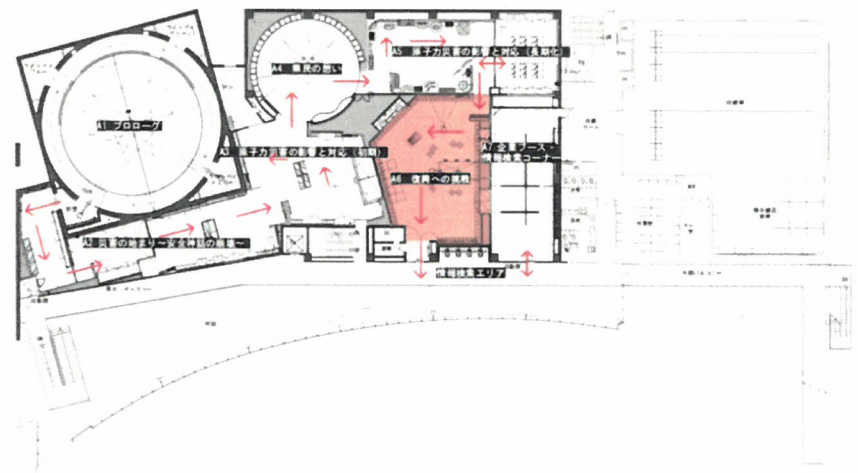
管理画面から表示するグラフ・テキストなど編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)

コメント



## A 6. 復興への挑戦

---



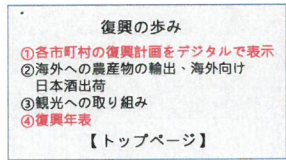
|               |                    |             |  |  |
|---------------|--------------------|-------------|--|--|
| No.<br>G6-0-1 | 項目名<br>復興への挑戦ゾーン導入 | 種類<br>ゾーン解説 | 中項目<br>A6-0 ゾーンサイン&イントロ  | 大項目<br>A6 復興への挑戦   |
|               |                    |             | <p>ねらい</p> <p>逆境を乗り越え、新たな農作物の栽培法の模索などの事例を通して、復興に挑戦するふくしまを紹介する。避難により離れざるを得なかった故郷にもう一度戻り、新しいまちづくりをすすめる、この世界初の取組み、将来像をリアルタイムに発信。人、産業、暮らし、など生活をとりまく多くのシーンでうけた風評払拭の過程、国を挙げてのチャレンジ、これらの状況を開示し、復興を実感、避難者の帰還を促進する。</p>   | <p>コメント</p> <div data-bbox="1816 296 1910 339" style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
|               |                    |             | 仕様   |  |
|               |                    |             | サイズ  |  |
| 解説文(案)        |                    |             | <p>展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A6-0 ゾーンサイン&amp;イントロ</li> <li>A6-1 行政による復興への取組み</li> <li>A6-2 廃炉の今</li> <li>A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取組</li> <li>A6-4 FUKUSHIMA 12</li> <li>A6-5 みらいの街</li> <li>A6-6 県民による復興への取組み(チャレンジ!ふくしま)</li> </ul> |  |
|               |                    |             | 備考   |  |

| No.           | 項目名<br>行政による復興への取り組み   | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-1 行政による復興への取り組み   | 大項目<br>A6 復興への挑戦   |
|---------------|--|--------------|---|--|
|               |  |              | <p>ねらい</p> <p>復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する情報など、更新可能な展示システムとすることで、ここに来れば常に復興に関する新しい情報を得られる場所にする。また、災害の発生からこれまでの復興の歩みについても紹介する。</p> | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</p> |
|               |  |              | <p>仕様</p>   |  |
|               |  |              | <p>サイズ</p>  |  |
| <p>解説文(案)</p> | <p>展示内容</p> <p>A6-1 ○証言映像<br/> ○復興の歩み、県下の復興の様子と周囲の反応<br/> (最新情報)(デジタルコンテンツ)<br/> ○実物資料<br/> ○復興する街全体演出</p> |              |   |  |
|               |  |              | <p>備考</p>   |  |

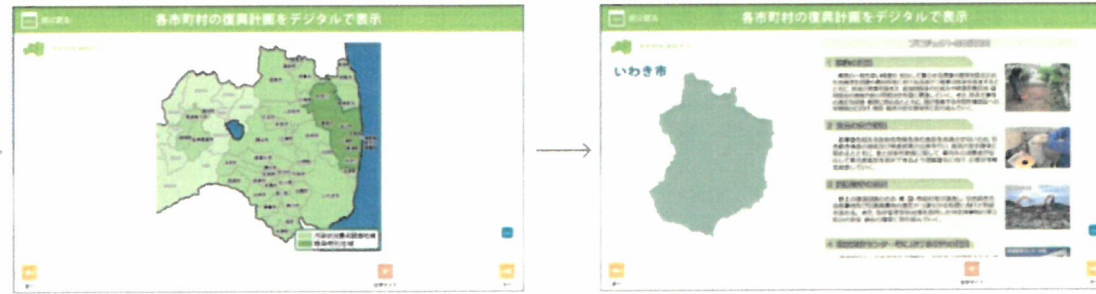
|                |                         |                                       |               |
|----------------|-------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-1 行政による復興への取り組み | アイテム: 復興への歩み、県下の復興の様子と周囲の反応<br>(最新情報) | 工種: デジタルコンテンツ |
|----------------|-------------------------|---------------------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 65インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する方法など、更新可能な展示システムとすることで、ここに来れば常に復興に関する新しい情報を得られる場所とする。また、災害の発生からこれまでの歩みについても紹介する。



### ①各市町村の復興計画をデジタルで表示

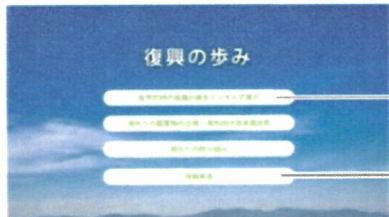


- ・「各市町村の復興計画」をテキスト、写真で紹介
- ・右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



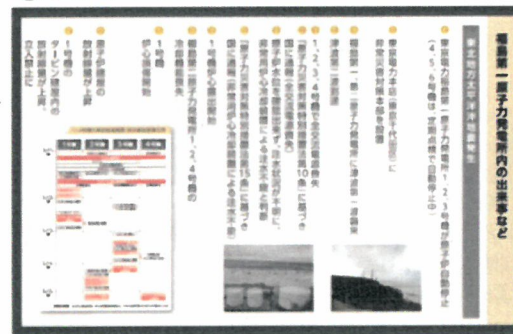
管理画面から表示するテキスト、写真など編集可能  
(常に最新の情報に差し替え可能)

アーカイブを常に最新にすることで、いつでも過去から現在を見ることができる。画像、PDFなどを取り込める



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

### ④復興年表



2011年3月11日より2020年までの原子力災害から復興の様子が記録されている。指でモニターをスクロールさせたり、タッチすることで、画像や解説画面を表示。オープン以降も常に最新情報を見ることができる。



管理画面から表示するテキスト、写真など編集可能  
(常に最新の情報に差し替え可能)

コメント

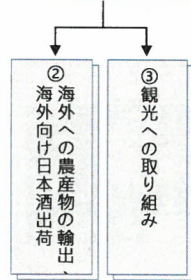
映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                |                         |                                    |               |
|----------------|-------------------------|------------------------------------|---------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-1 行政による復興への取り組み | アイテム: 復興への歩み、県下の復興の様子と周囲の反応 (最新情報) | 工種: デジタルコンテンツ |
|----------------|-------------------------|------------------------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 65インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する方法など、更新可能な展示システムとすることで、ここに来れば常に復興に関する新しい情報を得られる場所とする。また、災害の発生からこれまでの歩みについても紹介する。

- 復興の歩み**
- ①各市町村の復興計画をデジタルで表示
  - ②海外への農産物の輸出、海外向け日本酒出荷
  - ③観光への取り組み
  - ④復興年表
- 【トップページ】



## ②海外への農産物の輸出、海外向け日本酒出荷

- ・「海外への農産物の輸出、海外向け日本酒出荷」をテキスト、写真で紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



管理画面から表示するテキスト、写真などを編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

## ③観光への取り組み

- ・「観光への取り組み」をテキスト、写真で紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



管理画面から表示するグラフ、テキストなどを編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)

コメント  
映像内容は现阶段の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|                |                         |                           |             |
|----------------|-------------------------|---------------------------|-------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-1 行政による復興への取り組み | アイテム: 復興する街全体演出(タイムラプス映像) | 工種: 映像コンテンツ |
|----------------|-------------------------|---------------------------|-------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター投影 映像尺: 約3分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: なし 音楽: あり 効果音: あり プログラム: ループ再生

展示のねらい 原発事故により避難を余儀なくされた福島県の12の市町村それぞれの復興の進捗情報をタイムラプス映像で伝える。

※資料収集活動で設置される定点カメラの映像素材を活用してコンテンツを制作する



各地に設置された定点カメラにより定期的に記録された街の様子を、タイムラプス映像で紹介。  
各箇所の地図や日付の情報を挿入し、要所でマルチ展開するなど、画面全体を使った演出とする。



**Point 1**

各地のタイムラプス映像の冒頭には定点カメラが設置された場所の地図と名称を表示する。



**Point 2**

画面全体に映像をマルチで構成し、各地の復興の様子をよりアクトイプに演出する。

コメント

映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

■映像展開イメージ

イントロダクション (マルチ画面)



各地の映像(静止画)がモノクロでマルチに組まれた画面にタイトルを表出。その中からカラーに色づいた1枚が画面手前に現れ、町と場所の名称がスーパーされる。

各地復興のタイムラプス映像

各タイムラプス映像の冒頭に、定点カメラが設置された場所の地図を表示する。

●マリンハウスより



●楳葉北小築山より



●楳葉北小正門より



●天神岬より



エンディング (マルチ画面)



マルチで構成された各地の復興の様子を背景に、12市町村の地図が重なって輝きを放つ。

※映像構成は最終的に使用させていただくタイムラプス映像の内容によって再検討いたします。

|        |             |              |  |                                       |
|--------|-------------|--------------|--|---------------------------------------|
| No.    | 項目名<br>廃炉の今 | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-2 廃炉の今   | 大項目<br>A6 復興への挑戦                      |
|        |             |              | <p>ねらい</p> <p>福島第一原子力発電所における廃炉がどういった作業なのかを建屋に見立てたオブジェに立体映像を表示する技術により伝える。また、事故発生から現在に至るまでのタイムラインを自由に変え、その時の建屋の外、中など廃炉の経過を伝える。あわせてこれまでの経過や全体工程の中での進捗、廃炉に関連して開発された技術などの情報発信を行う。</p> | <p>コメント</p> <p><a href="#">参考</a></p> |
| 解説文(案) |             |              | <p>展示内容</p> <p>A6-2 ○廃炉計画(解説)<br/> ○<u>廃炉の進め方(デジタルコンテンツ+模型)</u><br/> ○<u>廃炉の歩み(デジタルコンテンツ)</u><br/> ○廃炉作業進捗状況(解説)</p>   |                                       |
|        |             |              | 備考   |                                       |

|                |                |              |                      |
|----------------|----------------|--------------|----------------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-2 廃炉の今 | アイテム: 廃炉の進め方 | 工種: ホログラムスクリーンとの合成映像 |
|----------------|----------------|--------------|----------------------|

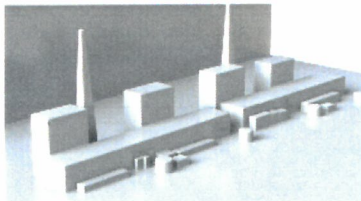
【コンテンツ仕様】 32インチモニター4台、ハイビジョンプレーヤー 4台、スイッチによるスタート

展示のねらい 福島第一原発における廃炉がどういった作業なのかを建屋に見立てたオブジェクトに立体映像を表示する技術により伝える。  
2011年の原発災害から廃炉に向けた中長期ロードマップの解説と現在取り組んでいる廃炉の状況を1号機～4号機の模型に投影した映像で見せる。

建屋と周辺環境をグレースケールの模型構築。  
その立体形状にホログラムスクリーンに映像を投影し事故発生から廃炉への経過、廃炉に向けて開発された最新技術などを立体的に紹介します。

コメント  
映像内容は現段階の想定、  
画像はイメージです。  
シナリオの流れについて御  
確認ください。

これまでの廃炉状況



これまでの廃炉実施計画と状況を各原発毎に伝える

■ 1号機 (燃料体: 392本)

■ 2号機 (燃料体: 615本)

■ 3号機 (燃料体: 566本)

■ 4号機 (燃料体: 1533本(概算))

現在進行中の廃炉計画 (2020年状況)



進行中の工事内容をCG・アニメーションを使い伝える

■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

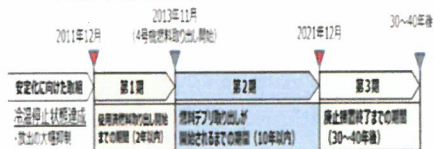
■ 4号機

今後の廃炉計画 (2020年以降)

燃料プールから燃料の取り出しから、放射性物質の飛散を防ぐカバーの設置など各1～4号機までそれぞれの工程を紹介する。

経産省「廃炉・汚染水対策ポータルサイトより廃炉に向けた工程(中長期ロードマップ2017年9月26日改訂)廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議決定内容を参考に※製作時最新版を参考とする。

今後の工事内容、調査状況をCG・アニメーションを使い伝える



■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

■ 4号機

中長期計画内容

■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

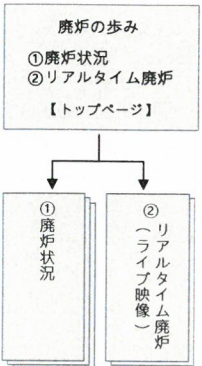
■ 4号機

廃炉の中長期計画の概要を伝える

|                |                |             |                 |
|----------------|----------------|-------------|-----------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-2 廃炉の今 | アイテム: 廃炉の歩み | 工種: タッチパネルコンテンツ |
|----------------|----------------|-------------|-----------------|

【コンテンツ仕様】 55インチタッチパネルディスプレイ、パソコン、外部インターネット環境

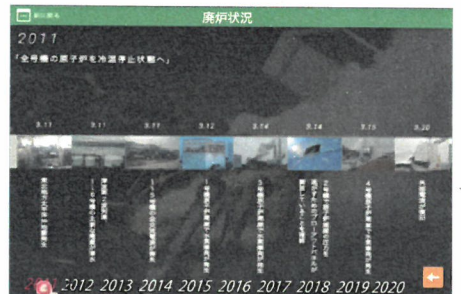
展示のねらい 事故発生から現在に至るまでのタイムラインを自由に変え、その時の建屋の外、中など廃炉の経過を伝える。あわせてこれまでの経過や全体工程の中での進捗、廃炉に関連して開発された技術などの情報発信を行う。タッチパネルにより、自由にタイムラインを操作することができる。



廃炉作業は、30年～40年かかると見込まれていますが、少しずつ前進しています。福島第一の「廃炉」の作業は、世界で誰も経験したことがない状況となっており、さまざまな課題があり、「福島第一原子力発電所の「廃炉」とは何か」「いま向き合っている課題は何か」をこのコンテンツで見ることができます。



- ・ トップ / 待機画面
- ・ 見たい項目をタッチして選択



廃炉状況を年で選ぶと、廃炉状況の写真と作業内容一覧が表示される。写真を右左に動かして、見たい作業内容をタッチする。



作業内容の写真が拡大され、解説文が表示される。左右の矢印ボタンで、同じ日の別作業の写真が表示される。



リアルタイム廃炉を選ぶと、東京電力のリアルタイムでの作業映像を見ることができる。画面には原発の位置状況、カメラ位置を表示。



見たい原発をタッチすると映像が拡大される。

コメント  
映像内容は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

|        |                              |              |  |   |
|--------|------------------------------|--------------|--|---|
| No.    | 項目名<br>福島イノベーション・コースト構想の取り組み | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み  | 大項目<br>A6 復興への挑戦  |
|        |                              |              | <p>ねらい</p> <p>震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す福島イノベーション・コースト構想と連携した、先端技術の紹介や企業との連携スペースとする。新産業のフィールドへの回遊の誘導、ツーリズムの紹介などを行うゲートウェイとして機能する。</p> <p>未来の福島の復興に関わる再生エネルギー、そのほか先端科学技術のデモンストレーションを行い、未来のビジョンを共有し、復興を推し進める契機となるような場づくりを行う。また、週末や団体対応時になどは、12市町村を始めとする県下の「語り部」の方が、自らの経験、復興や郷土への想いを語るステージとして利用。若手の語り部育成の場としても活用。</p> | <p>コメント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
| 解説文(案) |                              |              | <p>展示内容</p> <p>A6-3 ○福島イノベーション・コースト構想の取り組み(解説)<br/> ○解説映像<br/> ○実物展示<br/> ○未来技術デモンストレーションエリア</p>   |   |
|        |                              |              | 備考   |   |

|                |                                 |            |             |
|----------------|---------------------------------|------------|-------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み | アイテム: 解説映像 | 工種: 映像コンテンツ |
|----------------|---------------------------------|------------|-------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約5分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

※今後の福島イノベーション・コースト構想の進捗を踏まえコンテンツを制作する



浜通りの新たな産業基盤構築を目指す、国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」。本映像では、このプロジェクトの概要と具体的な取り組みについて、「ロボット」「廃炉研究」「エネルギー」「教育・人材育成」「環境・リサイクル」「農林水産」の6つのカテゴリに分け、それぞれを解説。プロジェクトがもたらす大きな可能性と浜通りの未来の姿を、来館者にわかりやすく伝える。



コメント

紹介項目は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

■映像展開イメージ

### プロローグ 構想の誕生と目的

2014年、国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」が誕生した経緯や、プロジェクトの目的を紹介する。

浜通りの新たな産業基盤構築へ  
イノベーション・コースト構想推進会議

一紹介項目一

- ・イノベーション・コースト構想推進企業協議会
- ・プロジェクトの目的
- ・プロジェクト誕生に携った方々 など

### プロジェクト① ロボット

南相馬市、浪江町の福島ロボットテストフィールドで行われている、物流やインフラ点検、大規模災害に活躍が期待されるロボットの実証実験の様子やその計画を紹介する。

ロボット実証実験

一紹介項目一

- ・福島ロボットテストフィールド(南相馬市および浪江町) など

### プロジェクト② 廃炉研究

富岡町の廃炉国際共同研究センターや楳葉町の遠隔技術開発センター、大熊町の分析研究センターを取り上げ、福島第一原子力発電所の廃止措置への取り組みを紹介する。

廃炉研究 廃止措置

一紹介項目一

- ・廃炉国際共同研究センター(富岡町)
- ・楳葉遠隔技術開発センター(楳葉町)
- ・大熊分析・研究センター(大熊町) など

### プロジェクト③ エネルギー

高効率石炭火力、LNG基地、洋上風力等に関連した産業エネルギー、避難指示区域での再生可能エネルギーの大量導入についての取り組みを紹介する。

エネルギー 洋上風力

一紹介項目一

- ・再エネ由来大規模水素製造実証拠点(浪江町)
- ・LNG火力発電(新地町)
- ・浮体式洋上風力発電設備(双葉群神) など

|                |                                 |            |             |
|----------------|---------------------------------|------------|-------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み | アイテム: 解説映像 | 工種: 映像コンテンツ |
|----------------|---------------------------------|------------|-------------|

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約5分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

■映像展開イメージ(続き)

**プロジェクト④ 農林水産**

農林業に関する作業の効率化、省力化に資するロボットの研究開発でのスマート農業の実現や、水産研究施設の強化への取り組みを紹介する。

ドローン  
省力化  
農林水産

—紹介項目—

- ・水産海洋研究センター(いわき市)
- ・浜地域農業再生研究センター(南相馬市)
- ・先端技術の導入によるスマート農業 など

**プロジェクト⑤ 環境・リサイクル**

被災地の膨大な廃棄物のリサイクルや希少金属を抽出する拠点の整備や、太陽光パネルや石炭灰などの先進的なリサイクル技術開発への取り組みを紹介する。

太陽光パネル  
石炭灰の再生砕石  
リサイクル  
技術開発

—紹介項目—

- ・石炭灰リサイクル製品製造技術の開発(南相馬市)
- ・再生可能エネルギーの最大活用を目指した下水汚泥処理システムの実用化開発(相馬市) など

**プロジェクト⑥ 教育・人材育成**

企業や高等教育機関と連携した、未来を担う人材を創出する特色あるキャリア教育の展開や、浜通りで研究活動を行っている大学の研究成果などを紹介する。

ふたば未来学園  
平工業高校  
人材育成  
教育

—紹介項目—

- ・ふたば未来学園(広野町)
- ・平工業高校(いわき市)
- ・情報発信拠点として創設された本館 など

**エピソード 世界からも注目**

世界からも注目を集める「イノベーション・コースト構想」。国内外の有識者からのメッセージやコメントを交えて、ダイジェストにこれまでの紹介映像を展開する。来館者に、生まれ変わる浜通りの未来像を感受させる。

—紹介項目—

- ・国内外の有識者のメッセージ(テキスト)やコメント など

※有識者については今後の検討

コメント

シナリオの流れについて御確認ください。

| No.   | 項目名<br>12市町村の復興への取り組み(新タイトル案)   | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-4 12市町村の復興への取り組み(新タイトル案)  | 大項目<br>A6 復興への挑戦   |
|---|---|--------------|---|--|
| <p>現タイトル:FUKUSHIMA 12</p> <p>↓</p> <p>新タイトル案:12市町村の復興への取り組み</p> |   |              | <p>ねらい</p> <p>原子力発電所事故により避難を余儀なくされた福島県の12市町村について、目指す将来像を提示するとともに、12市町村の復興の進捗情報と未来のビジョンについて共有する場。この場を活用し、帰還へのさらなる足がかりとする。常に最新の情報を提供するため、グラフィック、映像、実物展示などに対応したフレキシブルな展示システムとする。</p> | <p>コメント</p> <div data-bbox="1809 300 1908 347" style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">参考</div> |
|   |   |              | <p>仕様</p>   |  |
|   |   |              | <p>サイズ</p>  |  |
| <p>解説文(案)</p>   | <p>展示内容</p> <p>A6-4 ○12市町村の復興への取り組み(解説)</p> <p>○解説映像</p> <p>○実物展示</p> <p>備考</p> |              |   |  |

|                |                                  |            |           |
|----------------|----------------------------------|------------|-----------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-4 12市町村の復興への取り組み(新タイトル案) | アイテム: 解説映像 | 工種: コンテンツ |
|----------------|----------------------------------|------------|-----------|

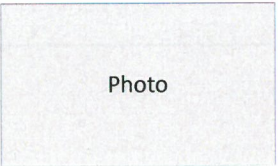
【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約3分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 原発事故により避難を余儀なくされた福島県の12の市町村について、目指す将来像を提示するとともに、12市町村の復興の進捗状況と未来のビジョンについて共有する。

※今後の12市町村の復興への取り組みを踏まえコンテンツを制作する

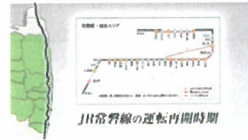


復興を続ける福島12市町村の現在。各市町村の未来へ向けた様々な取り組みの様子を、当事者のコメントやインフォメーショングラフィックを用いて展開。産業、教育、まちづくりの分野で活気ある地元の様子を紹介する。目指す将来像と復興の進捗を伝え、帰還へのさらなる足がかりとする。



Point 1

各パートに住民や当事者のコメントを挿入し、復興する様々な現場を、生の声を通して伝える。



Point 2

要所にインフォメーショングラフィックを用いて、誰にでもわかりやすい情報解説映像とする。

コメント

紹介項目は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

■映像展開イメージ

再生 プロローグ 「歩き出した12市町村」

2017年春、多くの避難指示が解除され、様々なイベントや式典が催される12市町村。新たな一歩を踏み出した町の姿を映し出し、本編のプロローグとする。



一紹介項目

- ・復興の集い(富岡町)
- ・川内の郷かえるマラソン(川内村)
- ・浮船まつり(南相馬市)など

産業 農林水産業の再生 「ふたたび美味しい福島へ」

アシストスーツやロボット農機など先端技術を導入したスマート農業の様子や、水産研究拠点整備プロジェクトによる水産資源の安全確保など農林水産業の新しい挑戦を紹介する。



一紹介項目

- ・アシストスーツ
- ・ドローンによる農薬散布
- ・環境制御型施設園芸 など

教育 様々な教育現場から 「未来を担う子どもたち」

避難指示解除にともない、次々と再開される小中学校や、合併されて新しく生まれ変わる高校など。未来を担う子どもたちの集う教育現場を紹介する。



一紹介項目

- ・福島県立小高産業技術高等学校創立(南相馬市)
- ・スポーツフェスタ開催(楡葉町)
- ・なみえ創成小・中学校再開(浪江町) など

生活 まちづくりの取り組み 「より安心に暮らす」

運行再開したJR常磐線などのインフラ、救急医療の体制を強化した消防署。新しくオープンした大型商業施設など、暮らしを支える町の様子を紹介する。



一紹介項目

- ・JR常磐線運行再開
- ・「さくらモールとみおか」開業(富岡町)
- ・「まいでい館」開業(飯館村) など

|        |  |              |   |   |
|--------|--|--------------|---|---|
| No.    | 項目名<br>みらいの街   | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-5 みらいの街   | 大項目<br>A6 復興への挑戦  |
|        |  |              | <p>ねらい</p> <p>災害や事故を乗り越えて、これまで以上に魅力ある新たな街に生まれ変わる福島未来に期待し、展示の締めくくりとする。ここでは震災・原子力発電所事故後、様々な困難に遭い、未だ立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に想像してもらおう。</p> | <p>コメント</p> <p style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">参考</p> |
|        |  |              | 仕様  |   |
|        |  |              | サイズ   |   |
| 解説文(案) | <p>展示内容</p> <p>A6-5 ○実物展示<br/>○<u>みんなで作るみらいの街(デジタルコンテンツ)</u></p> |              |   |   |
|        |  | 備考           |   |   |

|                |                 |                  |               |
|----------------|-----------------|------------------|---------------|
| 大項目: A6 復興への挑戦 | 小項目: A6-5  미래の街 | アイテム: みんなで作る未来の街 | 工種: デジタルコンテンツ |
|----------------|-----------------|------------------|---------------|

【コンテンツ仕様】 プロジェクター2台(テーブル、壁面)、制御用パソコン

展示のねらい 震災・原発事故後、様々な困難にあり、未だに立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に創造してもらおう。

来館者が思う、「こうなったらいいな」という福島のみらいの街の姿を、デジタルメディアを使って、みんなで作り上げていきます。みらいの街づくりは時間内でいくつかのオブジェ(家、電車、発電所等)をテーブル上に投影された地形に置くことで様々な街が出現します。

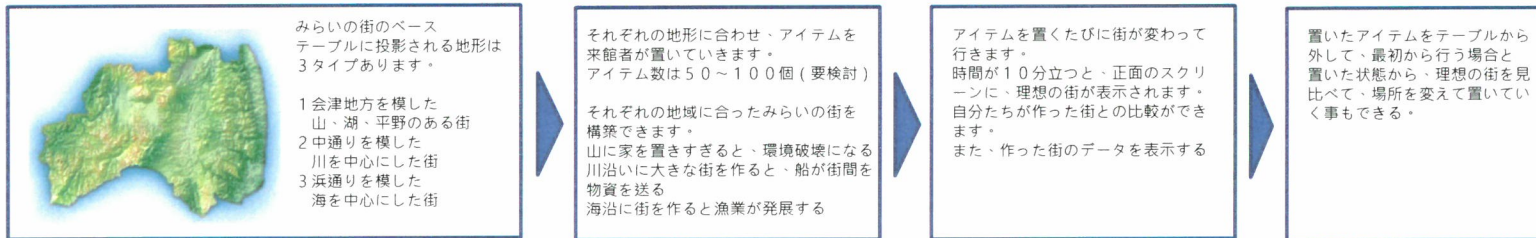
コメント

コンテンツ詳細は現段階の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

### みんなで作る未来の街

テーブルの上にアイテムを置いていきます。一人が置くと、アイテムを中心に街ができていく。他の来館者が、別の場所にアイテムを置くと街ができるが、他のアイテムと連携し、線路や道路が引かれ、電車やバスが走り出す。アイテムが増える事によって、街が大きくなっていく。福島の中期・長期の理想とするロードマップと来館者が作り上げた未来の街を比較を体験する。  
※アイテムは何種類かの形と目的がある

コンテンツの流れ  
福島の長期ロードマップに関連した未来の街を作る



テーブル面に町並みをプロジェクターで投影  
壁面は現在の街の様子を数値化して投影する

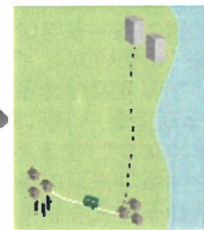
※一人だけの意見が大幅に他に影響を与えないため、同一アイテム使用は1回限り(何件も同じ建物を立てられない)。  
※目的を明確にするために、自分の街タイプの街アイテムだけを操作させるのか、どれを選べばいいのかを考える  
部分も含めて自由にさせる。



来館者の一人がテーブルにアイテムを置き  
ます。そこには一つのビルが建ちあがりま  
す。時間経過とともに、幾つかのビルや風  
力発電所も建っていきます。アイテムを置  
くポイントによって、ビルではなく、農  
場  
やスポーツ施設ができます。

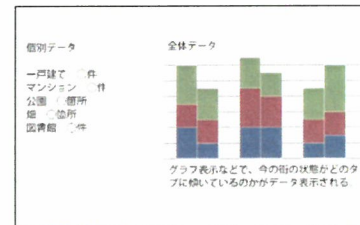


違う来館者がテーブルにアイテムを置き  
ます。そうすると、街に道路ができて、  
新しい街と繋がります。そして水素の自  
動車が走るようになります。



街が繋がって行くとき大きな街が形成され  
ます。ある一定の配置によって、飛行場  
や港もできていきます。置くアイテムが  
無くなった場合、未来の街のデータが  
記録され、再び新しい街を作ります。

壁面には、今の街の全体傾向データが表示される

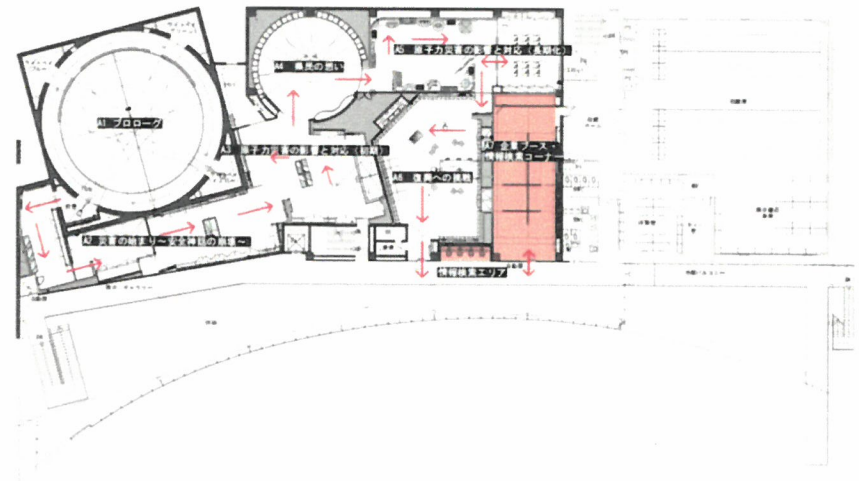


| No. | 項目名<br>県民による復興への取り組み(チャレンジ! ふくしま) | 種類<br>コーナー解説 | 中項目<br>A6-6 県民による復興への取り組み(チャレンジ! ふくしま)   | 大項目<br>A6 復興への挑戦                      |
|-----|-----------------------------------|--------------|--|---------------------------------------|
|     |                                   |              | <p>ねらい</p> <p>原子力災害によって住民に課せられた数々の課題。それを乗り越えるため、地元の特産や銘品などを新たな解釈で再生させ、ブランドとして価値向上させるなど、前向きに復興へ踏み出す数々のビジネスや生活の取り組みについて紹介する。展示の内容については、随時更新可能とし、常に新しい取り組みを紹介するとともに、県民の未来へのメッセージを伝える。</p> | <p>コメント</p> <p><a href="#">参考</a></p> |
|     |                                   |              | <p>仕様</p>  |                                       |
|     |                                   |              | <p>サイズ</p>   |                                       |
|     |                                   |              | <p>解説文(案)</p>  |                                       |
|     |                                   |              | <p>備考</p>  |                                       |

|   |                                      |   |   |            |   |            |                      |
|---|--------------------------------------|---|---|------------|---|------------|----------------------|
| 大項目:A6 復興への挑戦   | 小項目:A6-1 行政による復興への取り組み<br>A6-6  미래の街 | 展示区分:実物資料   | 資料区分:復興への取り組みや、「みらい」が伝わる資料                                |            |   |            |                      |
| 資料区分理由:継続する復興への新たな取り組みや、地域の子供たちが考えた「みらい」が伝わる資料。   |                                      |   |   |            |   |            |                      |
| <p>A6-1 行政による復興への取り組み<br/>復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する情報など、更新可能な展示システムとすることで、常にここに来れば復興に関する新しい情報を得られる場所にする。また、災害の発生からこれまでの復興の歩みについても紹介する。</p> <p>A6-6 未来の街<br/>災害や事故を乗り越えて、被害をバネにこれまで以上に魅力ある新たな街に生まれ変わる福島の未来に期待し、展示の締めくくりとする。ここでは震災・原発事故後、様々な困難にあい、未だに立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と想い描く未来の街と一緒に創造してもらうとともに、県民の未来へのメッセージを伝える。そして、できあがった街の姿をアーカイブし、時間の経過とともに人々が望む街がどのように変化するかを迎えることができるようにする。</p> |                                      |  <p>展示位置</p> | <p>・コメント</p> <p style="text-align: center;"><b>参考</b></p> |            |   |            |                      |
| ゾーン<br>NO.  | A6-1行政による復興への取り組み<br>189             | ゾーン<br>NO.  | A6-6未来の街<br>190   | ゾーン<br>NO. | A6-6未来の街<br>191                             | ゾーン<br>NO. | A6-6未来の街<br>192      |
| 資料名   | ・掃還支援アプリ及びチラシ                        | 資料名   | ・子供が作る未来の街模型  | 資料名        | 子供達が描いた『みらいのまち』の原画                          | 資料名        | ・○○の昔の街の様子模型         |
| Photo   |                                      | Photo   |   | Photo      |   | Photo      |                      |
| 寸法W・H   | W 210 × H 300                        | 寸法  | W900 x D600 h500/点  | 寸法         | W1800 x D900                                | 寸法         | W1000 x D1000 h200   |
| 保全・収集   | ○ ○ / ○ ○ ○ ○ ○                      | 保全・収集   | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・ FURE                                    | 保全・収集      | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・ FURE                      | 保全・収集      | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ FURE |
| 出典・備考   | ※○○○○○○○○○○○○○○○掃還支援アプリ チラシ(A4表のみ)   | 出典・備考   | ※○○の子供達が描いた『みらいのまち』の原画を地図上に配置後、子供たちが模型を作った。               | 出典・備考      | ※○○の子供達が描いた『みらいのまち』の原画を地図上に配置後、子供たちが模型を作った。 | 出典・備考      | ※○○○6点1組             |

## A 7. 企業ブース・情報検索コーナー

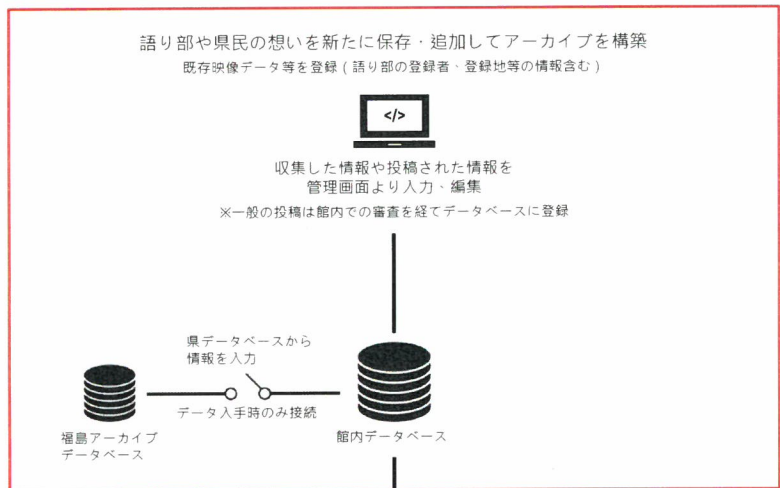
---



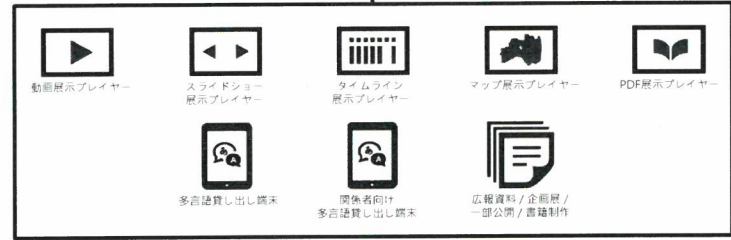
|                        |                  |                 |                                 |
|------------------------|------------------|-----------------|---------------------------------|
| 大項目: A7 企業ブース・情報検索コーナー | 小項目: A7-1 情報コーナー | アイテム: デジタルアーカイブ | 工程: タッチパネルコンテンツ及び館内構築データベースシステム |
|------------------------|------------------|-----------------|---------------------------------|

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネル4台、パソコン4台、館内サーバーシステム3セット

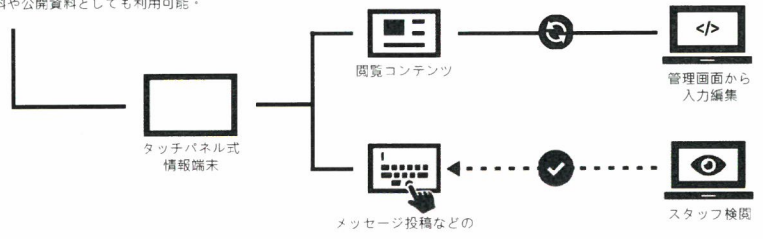
展示のねらい デジタルアーカイブの情報を来館者に提供し、資料によっては資料閲覧室での確認を可能とする。また、東日本大震災・原子力災害は、社会にスマートフォンが普及してからはじめての大規模災害だったこともあり、県民の多くが位置情報を持った写真や動画を撮影していることが想定されるため、そのデータの連携も考慮する。



語り継ぐべき被災地域や復興を牽引する企業・団体の取り組みを紹介し、震災の記憶や、未来に向かうふくしまの姿を動画や写真でみせる、スマートフォン及びタブレット向けに公開された「ふくしま記憶と未来体験アプリ」のデータをアーカイブとして保存します。



各館内端末連動・更新・公開機能  
体験型各館内端末と連携します。編集・更新・入れ替え、タイムテーブルなどの設定が可能。アーカイブデータを広報資料や公開資料としても利用可能。

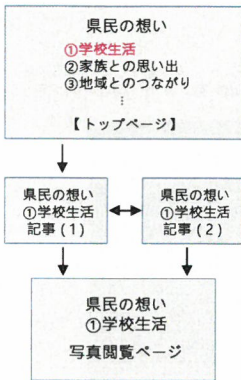


コメント  
コンテンツ詳細は现阶段の想定、画像はイメージです。シナリオの流れについて御確認ください。

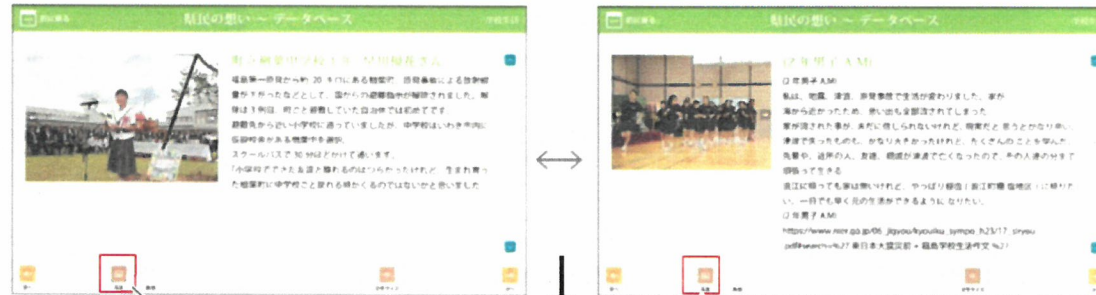
|                        |                  |                 |                                 |
|------------------------|------------------|-----------------|---------------------------------|
| 大項目: A7 企業ブース・情報検索コーナー | 小項目: A7-1 情報コーナー | アイテム: デジタルアーカイブ | 工種: タッチパネルコンテンツ及び館内構築データベースシステム |
|------------------------|------------------|-----------------|---------------------------------|

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネル4台、パソコン4台、館内サーバーシステム3セット

展示のねらい デジタルアーカイブの情報を来館者に提供し、資料によっては資料閲覧室での確認を可能とする。また、東日本大震災・原子力災害は、社会にスマートフォンが普及してからはじめての大規模災害だったこともあり、県民の多くが位置情報を持った写真や動画を撮影していることが想定されるため、そのデータの連携も考慮する。



- ・「県民の想い」に関する記事、写真などを表示
- ・情報量が多い画面は上下にスクロールして表示可能
- ・左右下のアイコンで画面の切り替えが可能



・文字の大きさや切り替えることが可能



管理画面から表示するテキスト、写真など編集可能



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択



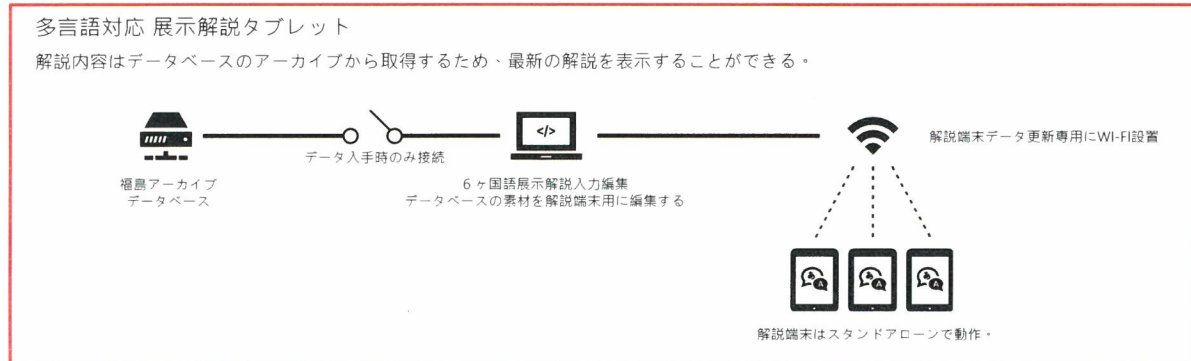
- ・「観光の取り組み」をテキスト、写真で紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

コメント

|              |                     |                 |                |
|--------------|---------------------|-----------------|----------------|
| 大項目: A8 館内共通 | 小項目: A8-1 展示解説タブレット | アイテム: 展示解説タブレット | 工種: タブレットによる解説 |
|--------------|---------------------|-----------------|----------------|

【コンテンツ仕様】 館内Wi-Fi構築、10インチタブレット50台

展示のねらい 貸出用のタブレットにより、多言語対応、展示の詳細解説等を可能にする。館内データベース・サーバーより常に最新のデータを呼び出し、各国の来館者の情報を伝える。



コメント

言語選択画面



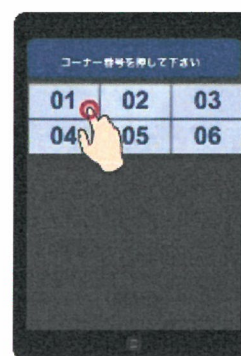
日本語・英語・中文(簡体字)・中文(繁体字)  
韓国語など5ヶ国語をベースに追加も可能

コーナー選択画面



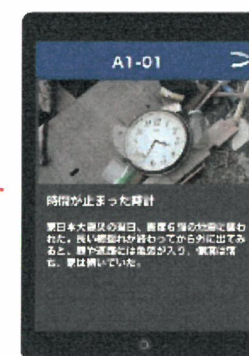
館内のコーナーを一覧表示し、  
自分のいるコーナーを選択する

アイテム選択画面



アイテムの番号を打ち込む、  
もしくはアイテム名を選択

解説表示画面



見たい内容の画像もしくは動画を表示して、  
解説文を表示する。音声の再生も可能。  
その場合はイヤホン等別途用意



イヤホンを用意することで、プロローグ映像の  
各国語の音声を聞くことが可能です。  
※映像に合わせてボタンを押すことで始まります。